



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013010	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英5))		
編集担当教員	井石 哲也		
授業担当教員名(科目責任者)	井石 哲也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	井石 哲也		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	2T5		
担当教員Eメールアドレス	iseki@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-822-4107(内線257)		
担当教員オフィスアワー	活水女子大学井石研究室にて要確認		
授業のねらい	英語読解力養成と聞き取り(イギリス英語の会話表現等)、イギリス文化理解		
授業方法(学習指導法)	使用テキストの英文(400語前後)を、構文を把握しながら精読し、正確に理解する。またイギリス英語の会話を理解できるように、聞き取りの能力を養成する。		
授業到達目標	英語読解力の養成とともに、現代イギリスのさまざまな文化の諸相について理解することを目標とする。		
授業内容	第1回 受講上の注意、テキストの使用法(第1章をサンプルとして)と授業の進め方について説明を行う。第2回～第15回は各回のトピックに従って英文の読解演習を行う。ただし、第13回はG-TELP(共通テスト)を実施する(結果を評価の一部にあてる)。最終の第16回目に定期試験を実施する。		
	回	内容	
	1	導入・テキストChapter 1: Animals:Fictional and Real	
	2	Chapter 2: Exporting Sport	
	3	Chapter 3: Literature:The Reading Boom	
	4	Chapter 4: Eating Habits:Changing Tastes	
	5	Chapter 5: Art:Attitudes and Anonymity	
	6	Chapter 6: Population: Food for Thought	
	7	Chapter 7: Antiques:Older is Often Better	
	8	Chapter 8: Smoke-free Britain	
	9	Chapter 9: Edinburgh:A City of Festivals	
	10	Chapter 10: Television:Reflecting Our Lives	
	11	Chapter 11: Structures of the Millennium	
	12	Chapter 13: Education in the UK	
	13	G-TELP実施日	
	14	Chapter 14: Superstition and Beliefs	
	15	Chapter 15: Pedal Power	
16	定期試験		

キーワード	
教科書・教材・参考書	Anthony Allan, Tetsuya & Reiko Iseki, Insight into Britain (Kinseido, 2010)
成績評価の方法・基準等	定期試験60点、G-TELP20点、授業における発表と取り組み20点の配点とする。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013012	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英3))		
編集担当教員	香川 実成		
授業担当教員名(科目責任者)	香川 実成		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	香川 実成		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]402		
対象学生(クラス等)	2T3		
担当教員Eメールアドレス	jissei@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	09043429702		
担当教員オフィスアワー	月曜日12:00~12:50 非常勤控室にて		
授業のねらい	現代社会に関する様々なトピックについて書かれた250語程度の英文パッセージを読む作業と、TOEICパート3・4対策にもなりうるリスニング・アクティビティを、毎回ユニット2つ分おこないます。読解、聴解、語彙増強を通して、基本的な英語学習スキルを向上させることをねらいとします。		
授業方法(学習指導法)	予習を前提とする演習形式で授業を進める。		
授業到達目標	①基本語彙については、「音」・「意味・語法」・「スペリング」の3つを統合して使えるようになること、②リーディングについては、個々のセンテンスの(修飾関係の把握に基づく)構造理解のみならず、センテンス間の論理関係とパラグラフ構成にも意識を向けること、③リスニングについては、英語のリズム、結合・脱落といった現象を確認し、最終的には自分のスピーキングで同様のことを実践すること一以上を目標とする。TOEICスコアなら550点以上が目標。		
授業内容	第2~第14回の毎回、教科書各ユニットのパッセージを材料として、そこで用いられている語彙の習得、内容理解の確認を中心とするリーディング・アクティビティ、及びリスニング・アクティビティをおこなう。毎回、前の週に扱ったユニットについての小テストをおこなう。		
	回	内容	
	1	授業概要と授業計画の説明	
	2	Unit 1: The Music Industry Unit 2: Cyber Crime	
	3	Unit 3: Frank Gehry Unit 4: Mining Garbage for Gold	
	4	Unit 5: Elderly Pets Unit 6: Robotic Body Language	
	5	Unit 7: Community Gardens Unit 8: Iceland's Energy Future	
	6	Unit 9: Banker to the Poor Unit 10: Shipwrecks	
	7	Unit 11: Colonizing Mars Unit 12: Sir David Murray: Disabled, but not Unable	
	8	Unit 13: Europe vs. GM Foods Unit 14: The Global Workplace: The Case of Dubai	
		Unit 15: Star Trek: Inspiring the World's Scientists	

	9	Unit 16: Chocolate: The Candy of Romance
	10	Unit 17: The Peace Corps Unit 18: Growing up Online
	11	Unit 19: The Euro Unit 20: The Science of Weightlifting
	12	Unit 21: Somalia's Dangerous Waters Unit 22: The Darwin Mission
	13	G-TELP(共通テスト)
	14	Unit 23: The Homeless World Cup Unit 24: Masdar: The City of the Future
	15	Units 1-24 まとめ
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	Andrew E. Bennett, Quick-Step English 2 (Nan'un-Do)	
成績評価の方法・基準等	G-TELP共通テスト 20% 小テスト 30% 定期試験 50% この授業の評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学カテストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		





タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013014	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英2))		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]323		
対象学生(クラス等)	2T2		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィサー	火3 水3 木3		
授業のねらい	このクラスは、テキストを利用して、リスニング力や速読の練習を行い、そのスキルを大幅に向上させます。またプリント教材により毎回ニュース英語を読みリーディング力と語彙力の養成を行います。音読の訓練も行い、スピーキング面での強化も行います。		
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストと配付のプリント教材を用いて、大意を取る練習をします。また細かな部分はブレーズリーディングで速読します。またテキストを用いて、リスニングの練習をたくさん行い、リスニングストラテジーによるリスニングスキルを身につけます。そして、e-learning 教材を授業の一部で行なうとともに、多くの部分は範囲を指定して、授業外学習をしてもらいます。また、最新の英字新聞を利用して、速読の練習も行います。		
授業到達目標	<p>プリント教材のテキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。テキストのファーストパラグラフがリピーティングできるようにします。</p> <p>また教科書の歌や歌詞が80%聞き取れるようにします。教科書の課題例文120を修得します。</p> <p>e-learning 教材パワーワーズレベル3の80%を修得します。</p> <p>授業の最初には、前回学習したプリントのテキストの第1パラグラフのリピーティングからはじめます。家庭で必ず練習してください。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生はテキストや英字新聞の指示された範囲を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。</p> <p>教科書の歌の歌詞をCDを用いて聞き取る練習をし、リスニングスキルをアップさせます。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業外でe-learning教材にも挑戦してもらいます。その進捗度も評価に加えます。</p> <p>担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p>		
	回	内容	
	1	オリエンテーション Take Me Out to the Ball Game e-learning Power Pords Level 3 Unit.1 英字新聞記事1	
	2	Edelweiss, Amazing Grace e-learning Power Pords Level 3 Unit.2~4 英字新聞記事1	
	3	Puff e-learning Power Pords Level 3 Unit.5~8 英字新聞記事1	

授業内容	4	Unchained Melody e-learning Power Pords Level 3 Unit.9~12 英字新聞記事2	
	5	Over the Rainbow e-learning Power Pords Level 3 Unit.13~16 英字新聞記事2	
	6	Where Have All the Flowers Gone? e-learning Power Pords Level 3 Unit.17~20 英字新聞記事2	
	7	Tennessee Waltz e-learning Power Pords Level 3 Unit.21~24 英字新聞記事3	
	8	My Way e-learning Power Pords Level 3 Unit.25~28 英字新聞記事3	
	9	Dreaming Home and Mother e-learning Power Pords Level 3 Unit.29~32 英字新聞記事3	
	10	Long Long Ago e-learning Power Pords Level 3 Unit.33~36 英字新聞記事4	
	11	Grandfather's Clock e-learning Power Pords Level 3 Unit.37~40 英字新聞記事4	
	12	I've Working on the Railroad e-learning Power Pords Level 3 Unit.41~43 英字新聞記事4	
	13	英字新聞記事5 G-TELP 試験	
	14	Beautiful Dreamer e-learning Power Pords Level 3 Unit.44~47	
	15	We wish you a Merry Christmas e-learning Power Pords Level 3 Unit.48~50 英字新聞記事5	
	16	定期試験	
	キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
	教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): English Melodies of the Heart (CD付) (英光社)1,795円 英字新聞 10円 (第1回目の授業時に教室にてセットで販売します) 教材 : プリント教材 毎回配布します。	
	成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20% 授業中の発表(小テスト含む)10%で行います。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			





シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013017	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英4))		
編集担当教員	西原 真弓		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 真弓		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 真弓		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]301		
対象学生(クラス等)	2T4		
担当教員Eメールアドレス	nishihara@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	メールで連絡してください		
授業のねらい	リスニング、文法、読解を中心に英語の基礎的な力を養成する。		
授業方法(学習指導法)	TOEIC 形式のテキストを使い、問題を解いていながら、リスニングの練習、文法基礎固め、また、様々な種類の読み物を速読する練習する。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC Bridge の出題内容が理解できるようになり、TOEICへの基礎固めができること ・語彙数がコントロールされたリスニングができるようになること ・指定された時間で長文を速読できるようになること 		
授業内容	回	内容	
	1	Unit 1 : Part I 内容語を聞き取る。 Part IV 代名詞の形と使い方	
	2	Unit 2 : Part II Yes/ No 疑問文。 Part V 広告文から情報を読み取る	
	3	Unit 3 : Part III 長文聴解に慣れる。 Part VI 動詞の変化形	
	4	Unit 4 : Part I 推測して聞き取る。 Part IV 表現の幅をひろげる	
	5	Unit 5 : Part II 疑問詞を使う疑問文。 Part V 図表や一覧表から情報を読み取る	
	6	Unit 6 : Part III スキミング技術を使ったリスニング Part VI 請求書・領収書から情報を読み取る	
	7	Unit 7 : Part I 身の回りのものを描写する力をつける。 Part IV 前置詞をしっかりと理解する	
	8	Unit 8 : Part II 勧誘・依頼表現に慣れる。 Part V お知らせ文書から情報を読み取る	
	9	Unit 9 : Part III スキャニング技術を使ったリスニング Part IV 接続詞に着目した読み方	
	10	Unit 10 : Part I スキャニング技術を使ったリスニング Part V 商品の説明書から情報を読み取る	
	11	Unit 11 : Part II How+α の疑問文。 Part VI 関係詞を理解して文の構造を見破る	
	12	Unit 12 : Part III 具体的な事柄を聞き取る Part V Eメールの形式に慣れる	
13	G-TELP		

	14	Unit 13 :Part I さまざまな描写の聞き取り Part V 比較・最上級の形と意味
	15	Unit 14 :Part II 様々な問いかけに即座に答える Part V ビジネスレターの基本
	16	Unit 15 : 定期試験
キーワード	英語文法基礎固め、読解、リスニング、TOEIC Bridge	
教科書・教材・参考書	和田ゆり・ミッシェル・スティール著『TOEIC Bridge:First Steps to Success』(南雲堂)	
成績評価の方法・基準等	G-TELP 20%、定期試験 70%、受講態度、課題提出 10%	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013019	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英1))		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]124		
対象学生(クラス等)	2Tg		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	0.0		
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室在中可		
授業のねらい	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意訳の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業方法(学習指導法)	受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業到達目標	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得る事ができる情報も、知識人として必要なものになります。		
授業内容	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは幕末の長崎について多く取り上げられているTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意訳の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで習得して行きます。		
	回	内容	
	1	第1回 Introduction,	
	2	第2回 Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)	
	3	第3回 Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)	
	4	第4回 Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)	
	5	第5回 Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2)	
	6	第6回 Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1)	
	7	第7回 Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2)	
	8	第8回 Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3)	
	9	第9回 Unit 8 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)	
	10	第10回 Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1)	
	11	第11回 Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2)	
	12	第12回 Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (3)	
	13	第13回 G-TELP	
	14	第14回 Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan: Steam Factory Nagasaki 1856	

	15 第15回 Unit 14 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Growth 1861-1865
	16 第16回 Final Examination
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング
教科書・教材・参考書	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% Examination 70% (G-TELP: 20%, Final Examination: 50%)
受講要件(履修条件)	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。 欠席回数が1/3以上で学期末試験の受講資格を失います。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	G-TELPテストは、原則15回目の授業で実施。詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『全学教育』

タイムアウトまでおよそ1797秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火1																												
開講期間																															
必修選択	必	単位数	1.0																												
時間割コード	20120590013001	科目番号	05900130																												
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2K(英1))																														
編集担当教員	稲田 俊明																														
授業担当教員名(科目責任者)	稲田 俊明																														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲田 俊明																														
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																														
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																												
教室	[全]104																														
対象学生(クラス等)	2K(英1)																														
担当教員Eメールアドレス	inada@lit.kyushu-u.ac.jp																														
担当教員研究室																															
担当教員TEL																															
担当教員オフィスアワー	火曜2限(事前にメールで連絡すること)																														
授業のねらい	"英語の読解力と英語による要約と課題作文を作成する力を養う。 短い英文のリスニングの能力を養う。"																														
授業方法(学習指導法)	"下記の「授業内容」欄に記された教材を使って、英文の読解、要約、作文、聞き取りを行う。 必要に応じて、宿題によって課題の提出を求める。 "																														
授業到達目標	"英語で書かれた論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 英語で書かれた論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 課題について、英語で作文ができるように、形式と基礎的な技術を身に付ける。"																														
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>Lateral Thinking (速読用1)</td></tr> <tr><td>2</td><td>MIT Trivia (速読用2)</td></tr> <tr><td>3</td><td>Quiz 1 (語彙、表現)</td></tr> <tr><td>4</td><td>The Mighty Micro (精読用 1)</td></tr> <tr><td>5</td><td>The Value of History (精読用 2)</td></tr> <tr><td>6</td><td>Quiz 2 (語彙、表現、聞き取り)</td></tr> <tr><td>7</td><td>MIT Graduation Speech (精読用 3)</td></tr> <tr><td>8</td><td>MIT Tech Talk (精読用 4)</td></tr> <tr><td>9</td><td>Quiz 3 (DVD Program 1: Listening Comprehension)</td></tr> <tr><td>10</td><td>英語発表の技術 (英文要約)</td></tr> <tr><td>11</td><td>英語作文の技術 1 (問題処理の英語)</td></tr> <tr><td>12</td><td>Quiz 4 (DVD Program 2: Listening Comprehension)</td></tr> <tr><td>13</td><td>G-TELP</td></tr> </tbody> </table>			回	内容	1	Lateral Thinking (速読用1)	2	MIT Trivia (速読用2)	3	Quiz 1 (語彙、表現)	4	The Mighty Micro (精読用 1)	5	The Value of History (精読用 2)	6	Quiz 2 (語彙、表現、聞き取り)	7	MIT Graduation Speech (精読用 3)	8	MIT Tech Talk (精読用 4)	9	Quiz 3 (DVD Program 1: Listening Comprehension)	10	英語発表の技術 (英文要約)	11	英語作文の技術 1 (問題処理の英語)	12	Quiz 4 (DVD Program 2: Listening Comprehension)	13	G-TELP
回	内容																														
1	Lateral Thinking (速読用1)																														
2	MIT Trivia (速読用2)																														
3	Quiz 1 (語彙、表現)																														
4	The Mighty Micro (精読用 1)																														
5	The Value of History (精読用 2)																														
6	Quiz 2 (語彙、表現、聞き取り)																														
7	MIT Graduation Speech (精読用 3)																														
8	MIT Tech Talk (精読用 4)																														
9	Quiz 3 (DVD Program 1: Listening Comprehension)																														
10	英語発表の技術 (英文要約)																														
11	英語作文の技術 1 (問題処理の英語)																														
12	Quiz 4 (DVD Program 2: Listening Comprehension)																														
13	G-TELP																														

	14	英語作文の技術 2 (英文手紙)
	15	まとめ
	16	期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	授業で配布する。	
成績評価の方法・基準等	出席20%、G-TELP 20%、授業中の課題20%、期末テスト40%	
受講要件(履修条件)	同クラスの履修経験のないもの	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013002	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2K(英3))		
編集担当教員	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者)	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	奥田 阿子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	2K(英3)		
担当教員Eメールアドレス	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問受付時間:火曜日2限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可		
授業のねらい	英語圏への留学、TOEICの受験などを想定し、大学生としてふさわしい実践的な英語の運用能力を養成します。		
授業方法(学習指導法)	この授業では、リスニング及び語彙の基礎力を養成することを目指します。教材の内容理解度及び学習ペース設定のため、リスニングについては1か月に1回程度、語彙については毎週、小テストを実施します。1週間に2、3回の自習が必要です。		
授業到達目標	各単語を逐一聞き取るのではなく、5語前後から成るフレーズに注目し、そのフレーズ全体の内容を理解するような姿勢でリスニング出来るようになること。また、話者の言葉自体だけでなく、話されている場所、話者の立場、その場の状況など、あらゆる情報を総合して、話者の発話内容を理解できるようになること。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション、教材の選定テスト	
	2	教材の説明、学習方法の説明	
	3	小テスト、グループワーク	
	4	小テスト、グループワーク	
	5	小テスト、グループワーク	
	6	小テスト、グループワーク	
	7	小テスト、グループワーク	
	8	小テスト、発表	
	9	小テスト、グループワーク	
	10	小テスト、グループワーク	
	11	小テスト、グループワーク	
	12	小テスト、グループワーク	
	13	G-TELP実施	
14	小テスト、グループワーク		

	15 小テスト、発表
	16 期末試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	Listen to Me！シリーズの教材
成績評価の方法・基準等	"期末テスト、小テスト、学習態度を、おおよそ以下の比率で総合的に評価する。 期末テスト:20% 小テスト:20% 自習状況を含む学習態度:40% G-TELP:20%"
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013008	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2K(英4))		
編集担当教員	山崎 有介		
授業担当教員名(科目責任者)	山崎 有介		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山崎 有介		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	2K4		
担当教員Eメールアドレス	pro-1223@i-next.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスパワー	授業終了時		
授業のねらい	世界共通語としての英語を通じて、世界状況を踏まえ、世界の経済状況及び日常生活、社会人としての生活を考える。英語が如何に日常生活や経済活動の中で使用頻度があるのかが理解できると思う。		
授業方法(学習指導法)	リスニングによる音声把握、音読による発音練習、そして、内容把握を目的とし、英文の読解力と表現力を養っていくものとする。		
授業到達目標	無理なく通常の英文が読め、聴覚力を養うことで、発音の向上を目指し、英語における表現力を豊かにしたい。TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。		
授業内容	毎回、Reading → Exercise: True or False (or Multiple Choice) → Useful Expressions → Exercise: Composition の順番で行う。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション: 授業の進め方・評価の仕方の説明・授業アンケート&クイズ	
	2	Chapter I : Money: The Basics I -1 Money has three functions. I -2 When you borrow money, you have to pay interest.	
	3	I -3 What happens to money you deposit in a bank I -4 Banks aren't the only financial institutions.	
	4	Chapter II : The value of Money Constantly Changes II -1 Prices are set according to the principle of supply and demand. II -2 Foreign trade is a two-way street.	
	5	II -3 Exchange rates also vary according to supply and demand. II -4 Currencies continuously strengthen and weaken against one another.	
	6	Chapter III : How Companies Work III -1 Joint-stock companies: how they came about III -2 Companies share their profits among their shareholders.	
	7	III -3 Trading in stocks has become a full-fledged market. III -4 E-trading has changed the nature of stock trading dramatically.	
	8	III -5 A company doesn't belong only to its shareholders. 中間としてのまとめ(その1)	
9	中間としてのまとめ(その2): (テストを含む)		

	ChapterIV: The State of the Economy 10 IV-1 The economy fluctuates in cycle. IV-2 There are two basic ways countries can stimulate their economies.
	11 IV-3 Sometimes an economy can become too robust. IV-4 In extreme cases, the economy can grow like a bubble.
	Chapter V: Economic Systems 12 V-1 There are two main economic systems in operation today. V-2 Socialism largely ended in failure.
	13 G-TELPテスト
	14 V-3 Globalization has its good points and its bad. V-4 Neo-liberalism is changing the way business done.
	15 V-5 Economic policies can serve to protect the natural environment. 後半のまとめ(その1)
	16 後半のまとめ(その2):(定期試験を含む)
キーワード	Listening/Speaking/Reading/Writing/Vocabulary
教科書・教材・参考書	All About Money and the Economy (Asahi Press)
成績評価の方法・基準等	教員評価分【定期試験40%、中間試験30%、G-TELPテスト20%、小試験及び授業への姿勢(予習・発言・質問)10%】
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	火1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013011	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2K(英2))		
編集担当教員	川島 浩勝		
授業担当教員名(科目責任者)	川島 浩勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	川島 浩勝		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	2K(英2)		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	長崎外国語大学 3階334研究室		
担当教員TEL	095-840-2000(内線334)		
担当教員オフィスアワー	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業のねらい	「総合英語Ⅲ」における学習成果を基に、英語のリスニングとリーディングにおけるバランスのとれた情報処理能力を身につける。		
授業方法(学習指導法)	様々なタスクを用い、リスニングとリーディングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己の英語力を客観的に把握・理解できる場面が用意され、同時に、リスニングとリーディングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。		
授業到達目標	本授業の到達目標は、1)様々なジャンルの口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2)語彙力のアップ、3)リスニングのスピードでより難しい文の処理・理解(リーディング)ができるようになる、である。		
授業内容	回	内容	
	1	授業方針の説明・英語力診断テスト	
	2	多聴プログラム1(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング1	
	3	多聴プログラム2(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング2	
	4	多聴プログラム3(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング3	
	5	多聴プログラム4(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング4	
	6	多聴プログラム5(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング5	
	7	多聴プログラム6(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング6	
	8	これまでの授業のまとめ	
	9	速読/精読プログラム1(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング1	
	10	速読/精読プログラム2(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング2	
	11	速読/精読プログラム3(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング3	
	12	速読/精読プログラム4(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング4	
	13	G-TELP	
14	速読/精読プログラム5(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング5		

	15	速読/精読プログラム6(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング6
	16	学期末試験
キーワード	多聴、多読、速読、精読、語彙、文、談話	
教科書・教材・参考書	基本的にはプリント教材を配布するが、第1回目の授業で実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。	
成績評価の方法・基準等	"レポート20%・G-TELP20%・学期末試験60%とする。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、第1回目の授業で配布する資料を参照すること。 "	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	木1																																
開講期間																																			
必修選択	必	単位数	1.0																																
時間割コード	20120590013003	科目番号	05900130																																
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2L5)																																		
編集担当教員	廣江 顕																																		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕																																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕																																		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																																		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																																
教室	[全]322																																		
対象学生(クラス等)	教育(2L5)																																		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp																																		
担当教員研究室																																			
担当教員TEL																																			
担当教員オフィサー	Emailにより受け付ける																																		
授業のねらい	テキストを用いながらリーディング力を培う。具体的には、トピックセンテンスを中心としたパラグラフ・リーディングと語彙や文構造に着目する精読の二通りのリーディング力を育成する。また、語彙や表現にこだわった英作文力の養成も行う。																																		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、テキストを要約あるいは精読するが、前もって学生を指名しておき発表してもらい、その後、質問等によりリーディングの指導を行う。後半では、前もって指名された学生に課題を板書してもらい、語彙や文法等にこだわったアカデミック・ライティングの指導を行う。																																		
授業到達目標	リーディングでは、目的や場面に応じて、速読と精読を使い分けることができるようになる。ライティングでは、アカデミック・ライティングへの橋渡しとなる力を養成する。																																		
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>Introduction (Sample Test)</td></tr> <tr><td>2</td><td>Chapter 1 Knowledge is Power, But Whose?</td></tr> <tr><td>3</td><td>Chapter 2 The Magic of Harry Potter</td></tr> <tr><td>4</td><td>Chapter 3 The Fast-Food Revolution</td></tr> <tr><td>5</td><td>Chapter 4 Beauty is in the Eye of the Beholder</td></tr> <tr><td>6</td><td>Chapter 5 One World, One Language?</td></tr> <tr><td>7</td><td>Chapter 6 A Gray Future?</td></tr> <tr><td>8</td><td>Chapter 7 'Til Death Us Do Apart? Marriage and Divorce in the 21st Century</td></tr> <tr><td>9</td><td>Chapter 8 The Pursuit of Happiness</td></tr> <tr><td>10</td><td>Chapter 9 The World Through Rose-tinted Glasses</td></tr> <tr><td>11</td><td>Chapter 10 ... And the Slow-Food Rebellion</td></tr> <tr><td>12</td><td>Chapter 11 The War for Talent</td></tr> <tr><td>13</td><td>G-TELP</td></tr> <tr><td>14</td><td>Chapter 12 China and India--the Future of the World?</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ</td></tr> </tbody> </table>			回	内容	1	Introduction (Sample Test)	2	Chapter 1 Knowledge is Power, But Whose?	3	Chapter 2 The Magic of Harry Potter	4	Chapter 3 The Fast-Food Revolution	5	Chapter 4 Beauty is in the Eye of the Beholder	6	Chapter 5 One World, One Language?	7	Chapter 6 A Gray Future?	8	Chapter 7 'Til Death Us Do Apart? Marriage and Divorce in the 21st Century	9	Chapter 8 The Pursuit of Happiness	10	Chapter 9 The World Through Rose-tinted Glasses	11	Chapter 10 ... And the Slow-Food Rebellion	12	Chapter 11 The War for Talent	13	G-TELP	14	Chapter 12 China and India--the Future of the World?	15	まとめ
回	内容																																		
1	Introduction (Sample Test)																																		
2	Chapter 1 Knowledge is Power, But Whose?																																		
3	Chapter 2 The Magic of Harry Potter																																		
4	Chapter 3 The Fast-Food Revolution																																		
5	Chapter 4 Beauty is in the Eye of the Beholder																																		
6	Chapter 5 One World, One Language?																																		
7	Chapter 6 A Gray Future?																																		
8	Chapter 7 'Til Death Us Do Apart? Marriage and Divorce in the 21st Century																																		
9	Chapter 8 The Pursuit of Happiness																																		
10	Chapter 9 The World Through Rose-tinted Glasses																																		
11	Chapter 10 ... And the Slow-Food Rebellion																																		
12	Chapter 11 The War for Talent																																		
13	G-TELP																																		
14	Chapter 12 China and India--the Future of the World?																																		
15	まとめ																																		

	16 定期試験
キーワード	reading, academic writing, knowledge, information
教科書・教材・参考書	John Barton, Anthony Sellick, 島村法夫, 星久美子 Knowledge is Power, 松柏社, 1800円(税込)
成績評価の方法・基準等	授業時の発表(30%)、G-TELP(20%)、定期試験(70%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	大学レベルのリーディング力及びアカデミック・ライティング力の基礎的能力を培う。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	必ず予習をして授業には臨むこと。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおおよそ1798秒です。 [印刷](#)

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013009	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2L4)		
編集担当教員	上村 俊彦		
授業担当教員名(科目責任者)	上村 俊彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	上村 俊彦		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	yandi@sun.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控え室		
担当教員TEL			
担当教員オフィサー			
授業のねらい	Content and Language Integrated Learning (CLIL)理論に基づいた大学レベルの英文テキストを学習する。2. 英語コミュニケーションの4技能(reading, listening, Writing, speaking)の向上を目的とした演習を行う。		
授業方法(学習指導法)	毎回の授業(クラス活動)を重視します。また、毎回のクラス開始時に前週に学習した内容についてのリスニングを課します。		
授業到達目標	大意を取りながら英文テキストを読むこと、英語の基本的な構造や出現頻度の高い語彙を用いた英文を聞くこと・話すこと・書くことに習熟する。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction	
	2	Unit 1. Getting to know you	
	3	Unit 2. The way we live	
	4	Unit 3. What happened next?	
	5	Unit 4. The marketplace	
	6	Unit 5. What do you want to do?	
	7	MMid-term Quiz Unit 6. Places and things	
	8	Unit 7. Fame!	
	9	Unit 8. Dos and don'ts	
	10	Unit 9. Going places	
	11	Unit 10. Things that changed the world	
	12	Unit 11. What if...?	
	13	G-TELP Test	
	14	Unit 12. Trying your best	
	15	Unit 13. Finding Fit	
	16	まとめ	

キーワード	Informative & varied readings
教科書・教材・参考書	Soars, John & Liz (2009). American Headway 2nd ed. Student Book 2. OUP
成績評価の方法・基準等	中間・学期末試験(リスニング試験含む) 60% G-TELP試験スコア 20% 課題 10%、 出席・授業中の発表 10%
受講要件(履修条件)	欠席5回で失格。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	https://www.oup.com/elt/americanheadway2e
備考(準備学習等)	教材のリスニングパートの録音教材を用いた音読トレーニングが不可欠。 G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木1																												
開講期間																															
必修選択	必	単位数	1.0																												
時間割コード	20120590013020	科目番号	05900130																												
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2L6)																														
編集担当教員	松元 浩一																														
授業担当教員名(科目責任者)	松元 浩一																														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松元 浩一																														
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																														
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																												
教室	[全]203																														
対象学生(クラス等)	2L6																														
担当教員Eメールアドレス																															
担当教員研究室	教育学部本館617号室																														
担当教員TEL																															
担当教員オフィスアワー	木曜日12:00~12:50																														
授業のねらい	(1) TOEIC, TOEFL等の読解テストにも役立つように英文を正確に(精読), 早く(速読)読み解くことができる。 (2) 英文中の重要な語句や表現を習得し, 英語による表現(英作文・英会話)にも応用できる力を身につける。																														
授業方法(学習指導法)	(1) 演習形式とする。受講者全員があらかじめ指定された箇所の語句や表現の意味を調べ, 英文の内容を発表できるように予習する。授業ではこちらが無作為に指名するので, 担当者は当てられた箇所を予習をもとに発表する。 (2) 着実に読解力をつけるために確認テストを2~3回行う。 (3) おりにふれてリスニングの訓練も行う(ただし本コースの主たる目的は読解力の養成である)。																														
授業到達目標	TOEICの読解力問題で70%~80%くらいの正解を得ることができる。																														
授業内容	<p>◆読解力を高めたいのに実力がつかない, 教科書の英文は退屈だと思っている学生も楽しく学べるように, 素材は物語, 自伝, 小節, エッセイの4ジャンル, 国籍も英米, 時代も19世紀と現代と変化に富ませ, 注釈はもちろん, 英文法ガイドも設けられている教科書を準備したので, 存分に読み込んで学習してもらいたい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>授業の進め方, 評価の説明, 教科書の説明, 単元Lafcadio Hearn (1)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Lafcadio Hearn (2)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Lafcadio Hearn (3)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Helen Keller (1)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>確認テスト第1回, Lafcadio Hearnのリスニング練習 Helen Keller (2)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Helen Keller (3)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Helen Keller (4)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Philip K. Dick (1)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Philip K. Dick (2)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>Philip K. Dick (3)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>確認テスト第2回, Helen Kellerリスニング練習 Philip K. Dick (4)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Robert Lynd (1)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Robert Lynd (2) と G-TELPテスト</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	授業の進め方, 評価の説明, 教科書の説明, 単元Lafcadio Hearn (1)	2	Lafcadio Hearn (2)	3	Lafcadio Hearn (3)	4	Helen Keller (1)	5	確認テスト第1回, Lafcadio Hearnのリスニング練習 Helen Keller (2)	6	Helen Keller (3)	7	Helen Keller (4)	8	Philip K. Dick (1)	9	Philip K. Dick (2)	10	Philip K. Dick (3)	11	確認テスト第2回, Helen Kellerリスニング練習 Philip K. Dick (4)	12	Robert Lynd (1)	13	Robert Lynd (2) と G-TELPテスト
回	内容																														
1	授業の進め方, 評価の説明, 教科書の説明, 単元Lafcadio Hearn (1)																														
2	Lafcadio Hearn (2)																														
3	Lafcadio Hearn (3)																														
4	Helen Keller (1)																														
5	確認テスト第1回, Lafcadio Hearnのリスニング練習 Helen Keller (2)																														
6	Helen Keller (3)																														
7	Helen Keller (4)																														
8	Philip K. Dick (1)																														
9	Philip K. Dick (2)																														
10	Philip K. Dick (3)																														
11	確認テスト第2回, Helen Kellerリスニング練習 Philip K. Dick (4)																														
12	Robert Lynd (1)																														
13	Robert Lynd (2) と G-TELPテスト																														

	14	Robert Lynd (3)
	15	Robert Lynd (4)
	16	確認テスト第3回 (期末テスト), Robert Lyndリスニング練習
キーワード	読解力(精読・速読)	
教科書・教材・参考書	行方昭夫・川西 進・柴田稔彦・上島建吉(編注)Reading English Step by Step. 音羽書房鶴見書店.	
成績評価の方法・基準等	教員評価分は下記 (1)と (2) の計80% (1) 授業時の発表 40% (2) 確認テスト第1回～3回の成績40% (3) G-TELPテスト20% (4) 便覧にあるとおり, 授業総回数 $\frac{1}{3}$ 以上欠席した学生は受験資格を認めない.	
受講要件(履修条件)	学生便覧を参照.	
本科目の位置づけ	学生便覧を参照.	
学習・教育目標	上記「授業のねらい」のとおり.	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	授業時には毎回英和辞書を(可能ならば英英辞書も)持参すること.	





シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	木2																																
開講期間																																			
必修選択	必	単位数	1.0																																
時間割コード	20120590013004	科目番号	05900130																																
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2P2)																																		
編集担当教員	廣江 顕																																		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕																																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕																																		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																																		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																																
教室	[全]203																																		
対象学生(クラス等)	薬学(2P2)																																		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp																																		
担当教員研究室																																			
担当教員TEL																																			
担当教員オフィスマワー	Emailにより受け付ける																																		
授業のねらい	テキストを用いながらリーディング力を培う。具体的には、トピックセンテンスを中心としたパラグラフ・リーディングと語彙や文構造に着目する精読の二通りのリーディング力を育成する。また、語彙や表現にこだわった英作文力の養成も行う。																																		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、テキストを要約あるいは精読するが、前もって学生を指名しておき発表してもらい、その後、質問等によりリーディングの指導を行う。後半では、前もって指名された学生に課題を板書してもらい、語彙や文法等にこだわったアカデミック・ライティングの指導を行う。																																		
授業到達目標	リーディングでは、目的や場面に応じて、速読と精読を使い分けることができるようになる。ライティングでは、アカデミック・ライティングへの橋渡しとなる力を養成する。																																		
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>Introduction (Sample test)</td></tr> <tr><td>2</td><td>Chapter 1 Archimedes--the First Streaker</td></tr> <tr><td>3</td><td>Chapter 2 A Sick Indian Dosiscovers Quinine</td></tr> <tr><td>4</td><td>Chapter 4 Vaccination--Edward Jenner, a Milkmaid, and Smallpox</td></tr> <tr><td>5</td><td>Chapter 5 Nitrous Oxide and Ether as Anesthetics</td></tr> <tr><td>6</td><td>Chapter 7 How to Succeed in Archaeology Without Really Trying "Things That Just Turned UP"</td></tr> <tr><td>7</td><td>Chapter 8 Some Astronomical Serendipities "The Big Bang" "Pulsars" "Pluto's Moon"</td></tr> <tr><td>8</td><td>Chapter 7 'Til Death Us Do Apart? Marriage and Divorce in the 21st Century</td></tr> <tr><td>9</td><td>Chapter 9 Accidental Medical Discoveries "Insulin" "The Pill" "LSD"</td></tr> <tr><td>10</td><td>Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Velcro: From Cockleburrs to Spaceships"</td></tr> <tr><td>11</td><td>Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Ivory Soap"</td></tr> <tr><td>12</td><td>Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Corn and Wheat Flakes"</td></tr> <tr><td>13</td><td>G-TELP</td></tr> <tr><td>14</td><td>Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Post-its" "Scotchgard"</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ</td></tr> </tbody> </table>			回	内容	1	Introduction (Sample test)	2	Chapter 1 Archimedes--the First Streaker	3	Chapter 2 A Sick Indian Dosiscovers Quinine	4	Chapter 4 Vaccination--Edward Jenner, a Milkmaid, and Smallpox	5	Chapter 5 Nitrous Oxide and Ether as Anesthetics	6	Chapter 7 How to Succeed in Archaeology Without Really Trying "Things That Just Turned UP"	7	Chapter 8 Some Astronomical Serendipities "The Big Bang" "Pulsars" "Pluto's Moon"	8	Chapter 7 'Til Death Us Do Apart? Marriage and Divorce in the 21st Century	9	Chapter 9 Accidental Medical Discoveries "Insulin" "The Pill" "LSD"	10	Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Velcro: From Cockleburrs to Spaceships"	11	Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Ivory Soap"	12	Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Corn and Wheat Flakes"	13	G-TELP	14	Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Post-its" "Scotchgard"	15	まとめ
回	内容																																		
1	Introduction (Sample test)																																		
2	Chapter 1 Archimedes--the First Streaker																																		
3	Chapter 2 A Sick Indian Dosiscovers Quinine																																		
4	Chapter 4 Vaccination--Edward Jenner, a Milkmaid, and Smallpox																																		
5	Chapter 5 Nitrous Oxide and Ether as Anesthetics																																		
6	Chapter 7 How to Succeed in Archaeology Without Really Trying "Things That Just Turned UP"																																		
7	Chapter 8 Some Astronomical Serendipities "The Big Bang" "Pulsars" "Pluto's Moon"																																		
8	Chapter 7 'Til Death Us Do Apart? Marriage and Divorce in the 21st Century																																		
9	Chapter 9 Accidental Medical Discoveries "Insulin" "The Pill" "LSD"																																		
10	Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Velcro: From Cockleburrs to Spaceships"																																		
11	Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Ivory Soap"																																		
12	Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Corn and Wheat Flakes"																																		
13	G-TELP																																		
14	Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Post-its" "Scotchgard"																																		
15	まとめ																																		

	16 定期試験
キーワード	reading, academic writing, science
教科書・教材・参考書	Royston M. Roberts, Serendipity: Accidental Discoveries in Science, 松柏社, 1575円(税込)
成績評価の方法・基準等	授業時の発表(30%)、G-TELP(20%)、定期試験(50%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	大学レベルのリーディング力及びアカデミック・ライティング力の基礎的能力を培う。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	必ず予習をして授業に臨むこと。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1527秒です。

印刷

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013007	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2F(英2))		
編集担当教員	村岡 三奈子		
授業担当教員名(科目責任者)	村岡 三奈子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	村岡 三奈子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]124		
対象学生(クラス等)	2F2		
担当教員Eメールアドレス	muraoka@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィシアワー	長崎純心大学村岡研究室にて随時		
授業のねらい	政治・経済・科学技術・文化・教育など、さまざまなトピックを題材にした英字新聞を読みながら、現代社会が抱える諸問題を分析的に理解する能力を養うことを目指す。		
授業方法(学習指導法)	原則として、毎週、テキストを1章ずつ学習する。基本的 vocabulary の習得、reading およびその summary、さらに categorizing の順番で進める。予習を前提とし、毎回、授業のはじめに確認の小テストを行う。		
授業到達目標	基本的構文および文法事項に留まらず、英文記事を読むための表現や基礎知識を習得して、英字新聞が抵抗なく読めるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	4月5日 インTRODクシヨソ	
	2	4月12日 Chapter 1	
	3	4月19日 Chapter 2	
	4	4月26日 Chapter 3	
	5	5月10日 Chapter 4	
	6	5月17日 Chapter 5	
	7	5月24日 Chapter 6	
	8	5月31日 Chapter 7	
	9	6月7日 Chapter 8	
	10	6月14日 Chapter 9	
	11	6月21日 Chapter 10	
	12	6月28日 Chapter 11	
	13	7月5日 G-TELPテストとまとめ	
	14	7月12日 Chapter 12	
	15	7月19日 Chapter 13	
16	7月26日 定期試験		
キーワード			

教科書・教材・参考書	教科書: News for You (SEIBIDO)
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況:10% 小テスト:10% G-TELP:20% 筆記試験:60%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	木2												
開講期間															
必修選択	必	単位数	1.0												
時間割コード	20120590013016	科目番号	05900130												
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2F(英3))														
編集担当教員	藤本 ゆかり														
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり														
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目														
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目												
教室	[全]103														
対象学生(クラス等)	2F3														
担当教員Eメールアドレス															
担当教員研究室	非常勤講師控室														
担当教員TEL	095-819-2078(非常勤講師控室)														
担当教員オフィスパワー	木曜日1時より														
授業のねらい	世界中から発信された、最新の環境や健康に関するニュースを読み、興味深い内容の英文を通して、世界の環境や健康に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、和訳の仕方を選び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。														
授業方法(学習指導法)	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、和訳の技術、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を、資料等を用いて指導する。														
授業到達目標	健康に対して関心を持ち、生活に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。和訳の技術を高めることができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。														
授業内容	<p>リーディングの方法として、準備段階を踏んで、リーディング本来の活動(スキミング、スキヤニング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに日本語に訳をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキヤニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、TOEIC形式の文法問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。</p> <p>英文は英字新聞から選ばれてきたものであり、フレーズ・リーディングを行うことで、教科書は特色あるものである。毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行って下さい。 自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月5日 導入・授業内容の説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月12日 Unit 1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4月19日 Unit 2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4月26日 Unit 3</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5月10日 Unit 4</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4月5日 導入・授業内容の説明	2	4月12日 Unit 1	3	4月19日 Unit 2	4	4月26日 Unit 3	5	5月10日 Unit 4
回	内容														
1	4月5日 導入・授業内容の説明														
2	4月12日 Unit 1														
3	4月19日 Unit 2														
4	4月26日 Unit 3														
5	5月10日 Unit 4														

	6	5月17日	Unit 5
	7	5月24日	Unit 6
	8	5月31日	Unit 7
	9	6月 7日	Unit 8
	10	6月14日	Unit 9
	11	6月21日	Unit 10
	12	6月28日	Unit 11
	13	7月 5日	G-TELPポスト・テストとまとめ
	14	7月12日	Unit 12
	15	7月19日	Unit 13
	16	定期試験	
キーワード	リーディング・リスニング・英字新聞・世界の出来事・環境・健康・TOEIC・英作文・英文法		
教科書・教材・参考書	The Picture of Health 「健康と食品ニュースで読む現代社会」(小笠原真司 他: 南雲堂) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	このクラスの成績評価は下記のとおりです。定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。定期試験の成績を70%、共通テスト(G-TELPテスト)の結果を20%の割合で、最終成績とします。授業中の発表や活動10%を基準とします。また、受講中の態度を非常に重視しますので、注意しましょう。		
受講要件(履修条件)	今年度工学部2年生の総合英語Ⅲは、目的別クラスに分けて実施されます。クラスが指定されますので、自分が受講するクラスを、学期の初めに全学教育事務室の掲示板で確認して下さい。授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		
本科目の位置づけ	リーディング・スキルの定着と向上を図る。		
学習・教育目標	総合的な英語の能力の基本を習得する。世界への関心を益々高める。		
備考(URL)			
備考(準備学習等)	授業には必ず予習をして臨んで下さい。英単語の意味を予め調べておき、文章の大意を掴んでおきます。工学部目的別のクラス分けは、英語学力基礎テストの結果に基づき、リーディング中心型クラスと総合力(基礎力)養成クラスに分けています。		





シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	金 1																																
開講期間																																			
必修選択	必	単位数	1.0																																
時間割コード	20120590013005	科目番号	05900130																																
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2E(英2))																																		
編集担当教員	廣江 顕																																		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕																																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕																																		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																																		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																																
教室	[全]323																																		
対象学生(クラス等)	経済(2E2)																																		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp																																		
担当教員研究室	unknown																																		
担当教員TEL	unknown																																		
担当教員オフィスマナー	Emailにより受け付ける																																		
授業のねらい	テキストを用いながらリーディング力を培う。具体的には、トピックセンテンスを中心としたパラグラフ・リーディングと語彙や文構造に着目する精読の二通りのリーディング力を育成する。また、語彙や表現にこだわった英作文力の養成も行う。																																		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、テキストを要約あるいは精読するが、前もって学生を指名しておき発表してもらい、その後、質問等によりリーディングの指導を行う。後半では、前もって指名された学生に課題を板書してもらい、語彙や文法等にこだわったアカデミック・ライティングの指導を行う。																																		
授業到達目標	リーディングでは、目的や場面に応じて、速読と精読を使い分けることができるようになる。ライティングでは、アカデミック・ライティングへの橋渡しとなる力を養成する。																																		
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>Introduction (Sample Test)</td></tr> <tr><td>2</td><td>Chapter 1 Knowledge is Power, But Whose?</td></tr> <tr><td>3</td><td>Chapter 2 The Magic of Harry Potter</td></tr> <tr><td>4</td><td>Chapter 3 The Fast-Food Revolution</td></tr> <tr><td>5</td><td>Chapter 4 Beauty is in the Eye of the Beholder</td></tr> <tr><td>6</td><td>Chapter 5 One World, One Language?</td></tr> <tr><td>7</td><td>Chapter 6 A Gray Future?</td></tr> <tr><td>8</td><td>Chapter 7 'Til Death Us Do Apart? Marriage and Divorce in the 21st Century</td></tr> <tr><td>9</td><td>Chapter 8 The Pursuit of Happiness</td></tr> <tr><td>10</td><td>Chapter 9 The World Through Rose-tinted Glasses</td></tr> <tr><td>11</td><td>Chapter 10 ... And the Slow-Food Rebellion</td></tr> <tr><td>12</td><td>Chapter 11 The War for Talent</td></tr> <tr><td>13</td><td>G-TELP</td></tr> <tr><td>14</td><td>Chapter 12 China and India--the Future of the World?</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ</td></tr> </tbody> </table>			回	内容	1	Introduction (Sample Test)	2	Chapter 1 Knowledge is Power, But Whose?	3	Chapter 2 The Magic of Harry Potter	4	Chapter 3 The Fast-Food Revolution	5	Chapter 4 Beauty is in the Eye of the Beholder	6	Chapter 5 One World, One Language?	7	Chapter 6 A Gray Future?	8	Chapter 7 'Til Death Us Do Apart? Marriage and Divorce in the 21st Century	9	Chapter 8 The Pursuit of Happiness	10	Chapter 9 The World Through Rose-tinted Glasses	11	Chapter 10 ... And the Slow-Food Rebellion	12	Chapter 11 The War for Talent	13	G-TELP	14	Chapter 12 China and India--the Future of the World?	15	まとめ
回	内容																																		
1	Introduction (Sample Test)																																		
2	Chapter 1 Knowledge is Power, But Whose?																																		
3	Chapter 2 The Magic of Harry Potter																																		
4	Chapter 3 The Fast-Food Revolution																																		
5	Chapter 4 Beauty is in the Eye of the Beholder																																		
6	Chapter 5 One World, One Language?																																		
7	Chapter 6 A Gray Future?																																		
8	Chapter 7 'Til Death Us Do Apart? Marriage and Divorce in the 21st Century																																		
9	Chapter 8 The Pursuit of Happiness																																		
10	Chapter 9 The World Through Rose-tinted Glasses																																		
11	Chapter 10 ... And the Slow-Food Rebellion																																		
12	Chapter 11 The War for Talent																																		
13	G-TELP																																		
14	Chapter 12 China and India--the Future of the World?																																		
15	まとめ																																		

	16 定期試験
キーワード	reading, academic writing, knowledge, information
教科書・教材・参考書	John Barton, Anthony Sellick, 島村法夫, 星久美子 Knowledge is Power, 松柏社, 1800円(税込)
成績評価の方法・基準等	授業時の発表(30%)、G-TELP(20%)、定期試験(70%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	大学レベルのリーディング力及びアカデミック・ライティング力の基礎的能力を培う。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	必ず予習をして授業には臨むこと。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	金1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013006	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2E(英4))		
編集担当教員	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者)	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	奥田 阿子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	2E(英4)		
担当教員Eメールアドレス	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問受付時間:金曜日2限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可		
授業のねらい	英語圏への留学、TOEICの受験などを想定し、大学生としてふさわしい実践的な英語の運用能力を養成します。		
授業方法(学習指導法)	この授業では、リスニング及び語彙の基礎力を養成することを目指します。教材の内容理解度及び学習ペース設定のため、リスニングについては1か月に1回程度、語彙については毎週、小テストを実施します。1週間に2、3回の自習が必要です。		
授業到達目標	各単語を逐一聞き取るのではなく、5語前後から成るフレーズに注目し、そのフレーズ全体の内容を理解するような姿勢でリスニング出来るようになること。また、話者の言葉自体だけでなく、話されている場所、話者の立場、その場の状況など、あらゆる情報を総合して、話者の発話内容を理解できるようになること。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション、教材の選定テスト	
	2	教材の説明、学習方法の説明	
	3	小テスト、グループワーク	
	4	小テスト、グループワーク	
	5	小テスト、グループワーク	
	6	小テスト、グループワーク	
	7	小テスト、グループワーク	
	8	小テスト、発表	
	9	小テスト、グループワーク	
	10	小テスト、グループワーク	
	11	小テスト、グループワーク	
	12	小テスト、グループワーク	
	13	G-TELP実施	
14	小テスト、グループワーク		

	15 小テスト、発表
	16 期末試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	Listen to Me！シリーズの教材
成績評価の方法・基準等	"期末テスト、小テスト、学習態度を、おおよそ以下の比率で総合的に評価する。 期末テスト:20% 小テスト:20% 自習状況を含む学習態度:40% G-TELP:20%"
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	前期	曜日・校時	金 1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013013	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2E(英3))		
編集担当教員	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]401		
対象学生(クラス等)	2E		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	毎週金曜日 12:00~12:50		
授業のねらい	日本の大企業が成功するまでの企業努力についての英文を通し、今、日本・世界が何を求めているのか、自身で理解し、それについての自身の意見をしっかりと述べられることをねらいとする。		
授業方法(学習指導法)	一回の授業で一課進む。 前半はリーディング中心で、既習文法、専門用語等に触れ、英文を正確に読む。 後半はライティング中心で、年表作成等を通し、各課の内容理解を深める。		
授業到達目標	様々な企業努力について英文を読み、自分自身の企業に対する考えや、自身の考える改良点等を英語で伝えることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction 授業の進め方・諸注意 サントリー 水とともに生きる	
	2	ナベル 卵にこめた祈りと願い	
	3	象印マホービン 日常生活発想	
	4	竹中工務店 想いをかたちに	
	5	ココロ 「ひらめき・はかどり・こちよさ」	
	6	紀州技研工業 世界へ飛ばせ、紀州のインク	
	7	コーナン DIYショップから「住まいの総合店へ」	
	8	モンベル 山にいでむー機能美の追求	
	9	スマトラ支援(竹中工務店)・みまもりほっとライン(象印マホービン)・EXN3000オートバックカー(ナベル)	
	10	トタニ技研工業 技術を包んで半世紀—製袋機の未来を拓く	
	11	サンスター 常に人々の健康の増進と生活文化の向上に奉仕する	
	12	武田薬品工業 「くすりづくり」の王道を行く	
	13	G-TELP	
	14	江崎グリコ おいしさと健康	
	15	あなたが作る企業紹介ページ	

	16 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	A Visit to Amazing Kansai-based Companies 英語で知る日本の企業秘話 (松柏社) ¥2,100
成績評価の方法・基準等	定期試験60% 授業への積極的な取り組み(課題・発表等)40% ←これを80%換算したものとG-TELPの成績20%
受講要件(履修条件)	授業中、発表してもらいますので、しっかりと予習した上で授業に臨んで下さい。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 [印刷](#)タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。

学期	前期	曜日・校時	金1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013015	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2E(英1))		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]124		
対象学生(クラス等)	2Tg		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	0.0		
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室在中可		
授業のねらい	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意訳の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業方法(学習指導法)	受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業到達目標	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得る事ができる情報も、知識人として必要なものになります。		
授業内容	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは幕末の長崎について多く取り上げられているTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意訳の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで習得して行きます。		
	回	内容	
	1	第1回 Introduction,	
	2	第2回 Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)	
	3	第3回 Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)	
	4	第4回 Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)	
	5	第5回 Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2)	
	6	第6回 Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1)	
	7	第7回 Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2)	
	8	第8回 Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3)	
	9	第9回 Unit 8 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)	
	10	第10回 Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1)	
	11	第11回 Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2)	
	12	第12回 Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (3)	
	13	第13回 G-TELP	
	14	第14回 Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan: Steam Factory Nagasaki 1856	

	15 第15回 Unit 14 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Growth 1861-1865
	16 第16回 Final Examination
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング
教科書・教材・参考書	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% Examination 70% (G-TELP: 20%, Final Examination: 50%)
受講要件(履修条件)	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。 欠席回数が1/3以上で学期末試験の受講資格を失います。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	G-TELPテストは、原則15回目の授業で実施。詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1797秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013018	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2F(英1))		
編集担当教員	石松 惇		
授業担当教員名(科目責任者)	石松 惇		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	石松 惇		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]103		
対象学生(クラス等)	2F1		
担当教員Eメールアドレス	a-ishima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環東シナ海環境資源研究センター		
担当教員TEL	095-850-7312		
担当教員オフィサー	E-mailにより受け付けます		
授業のねらい	総合英語Ⅲは、3クラスを習熟度別に分けて実施されます。このクラスは、その中で科学英語論文を正確に、しかも迅速に読める英語力を身につけることを目的で開講します。基礎的英文法および基本構文の知識はあるとの前提で講義を行ないます。		
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておくことが必要です。授業中に必要に応じて配布する教材は、その場で読んでもらい大意を取る練習をするとともに、持ち帰って精読してきてもらいます。		
授業到達目標	英語力が比較的ある学生を対象に、長文の科学論文を精確に読みとるための基礎力修得を目標に指導します。TOEICとの関係では正確・迅速な読解力を身につけることによってリーディング問題への対応力が身につきます。		
授業内容	水産学部総合英語Ⅲは、1年次後期総合英語Ⅱと同様に習熟度別クラスにて実施します。クラス分けは、1年次の成績をもとに事前に発表しますので、掲示をよくみておいてください。(後期英語コミュニケーションⅢは、従来どおりのクラスです)。		
	本年度の講義には“The State of World Fisheries and Aquaculture 2010(PART 2, 93-112; PART 3 115-120)”を使います。受講する学生諸君は事前にダウンロードして、テキストとして使えるように準備しておいてください。これらの資料は教科書ではなく、国連食糧農業機関(FAO)が2年に1回発行している世界の漁業と養殖業の現状に関するレポートです。文法事項などについては適宜説明します。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション The State of World Fisheries and Aquaculture 2010 Trade measures against IUU fishing	
	2	The State of World Fisheries and Aquaculture 2010 Trade measures against IUU fishing	
	3	The State of World Fisheries and Aquaculture 2010 Trade measures against IUU fishing	
	4	The State of World Fisheries and Aquaculture 2010 Maintaining biosecurity in aquaculture	
5	The State of World Fisheries and Aquaculture 2010 Maintaining biosecurity in aquaculture		
6	The State of World Fisheries and Aquaculture 2010 Which fish to eat		

	7	The State of World Fisheries and Aquaculture 2010 Which fish to eat
	8	中間試験
	9	The State of World Fisheries and Aquaculture 2010 Fisheries sector transparency
	10	The State of World Fisheries and Aquaculture 2010 Fisheries sector transparency
	11	The State of World Fisheries and Aquaculture 2010 Fisheries sector transparency
	12	The State of World Fisheries and Aquaculture 2010 Climate change implications for fisheries and aquaculture
	13	G-TELP
	14	The State of World Fisheries and Aquaculture 2010 Climate change implications for fisheries and aquaculture
	15	The State of World Fisheries and Aquaculture 2010 Climate change implications for fisheries and aquaculture
	16	定期試験
キーワード	科学英語、精読、英文法基礎	
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト):"The State of World Fisheries and Aquaculture 2010"は http://www.fao.org/docrep/013/i1820e/i1820e00.htm でダウンロードできます。PART 2とPART 3(一部ののみ)を使います。	
成績評価の方法・基準等	15回目の講義において3クラス共通で同時に、G-TELP(General Tests of English Language Proficiency)を行います。3 クラスとも、成績評価の20%が、G-TELPの結果で行われます。残りの80%の評価が、各担当教員により行われます。 このクラス2F1の成績評価は、G-TELP20%、中間試験30%、定期考査50%、で行います。	
受講要件(履修条件)	水産学部2年生の総合英語IIIは、3クラスを習熟度別に分けて実施されます。自分が受講するクラスを、全学教育事務 室の掲示等で確認してください。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		





シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013021	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2M2)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]大教センター2F		
対象学生(クラス等)	医学(2M2)		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	Emailにより質問を受け付ける(Email address:unknown)		
授業のねらい	短時間で素早く英文の論理的な流れを捉える力を養成する。また、医学関連分野の文献を中心としたテキストを用いることにより、医学用語等も身につける。		
授業方法(学習指導法)	テキストを用いながら、学生を前もって指名しておき、要約等の発表を行ってもらい、内容・語彙等について複数の質問を行うものとする。また、3章終了ごとに、学生各自の意見に主張を加えたエッセイを書いてもらう。		
授業到達目標	短い時間で素早く英文の大意と論理の流れ捉えるようになり、さらに各自の主張を英語でまとめることを可能にする。		
授業内容	回	内容	
	1	Orientation (self-introduction)	
	2	Clinical Ethics (1)	
	3	Clinical Ethics (2)	
	4	Essay Writing	
	5	Genetics (1)	
	6	Genetics (2)	
	7	Genetics (3)	
	8	Essay Writing	
	9	Reproduction (1)	
	10	Reproduction (2)	
	11	Reproduction (3)	
	12	Essay Writing	
	13	G-TELP	
	14	Clinical Ethics (3)	
	15	Essay Writing	
16	定期試験		
キーワード	reading, essay writing, medical terminologies		

教科書・教材・参考書	松村瑞子他 Issues in Bioethics, 開文社, 2000円.
成績評価の方法・基準等	授業時の発表(20%)、G-TELP(20%)、エッセイの提出(30%)、定期試験(30%)
受講要件(履修条件)	出席は定期試験を受験する前提要件となる。4回以上の欠席で定期試験の受験資格を失う。20分以上の遅刻・早退は欠席とみなす。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	英文の論理と大意を素早く捉え、英語エッセイを通して各自の主張が行える。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	英語の辞書を持参すること(電子辞書も可)



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013022	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2M3)		
編集担当教員	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者)	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	奥田 阿子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]125		
対象学生(クラス等)	(2M3)		
担当教員Eメールアドレス	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問受付時間:月曜日3限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可		
授業のねらい	英語圏への留学、TOEICの受験などを想定し、大学生としてふさわしい実践的な英語の運用能力を養成します。		
授業方法(学習指導法)	この授業では、リスニング及び語彙の基礎力を養成することを目指します。教材の内容理解度及び学習ペース設定のため、リスニングについては1か月に1回程度、語彙については毎週、小テストを実施します。1週間に2、3回の自習が必要です。		
授業到達目標	各単語を逐一聞き取るのではなく、5語前後から成るフレーズに注目し、そのフレーズ全体の内容を理解するような姿勢でリスニング出来るようになること。また、話者の言葉自体だけでなく、話されている場所、話者の立場、その場の状況など、あらゆる情報を総合して、話者の発話内容を理解できるようになること。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション、教材の選定テスト	
	2	教材の説明、学習方法の説明	
	3	小テスト、グループワーク	
	4	小テスト、グループワーク	
	5	小テスト、グループワーク	
	6	小テスト、グループワーク	
	7	小テスト、グループワーク	
	8	小テスト、発表	
	9	小テスト、グループワーク	
	10	小テスト、グループワーク	
	11	小テスト、グループワーク	
	12	小テスト、グループワーク	
	13	G-TELP実施	
14	小テスト、グループワーク		

	15 小テスト、発表
	16 期末試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	Listen to Me！シリーズの教材
成績評価の方法・基準等	"期末テスト、小テスト、学習態度を、おおよそ以下の比率で総合的に評価する。 期末テスト:20% 小テスト:20% 自習状況を含む学習態度:40% G-TELP:20%"
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013030	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英7))		
編集担当教員	香川 実成		
授業担当教員名(科目責任者)	香川 実成		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	香川 実成		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]21講義室		
対象学生(クラス等)	2T7		
担当教員Eメールアドレス	jissei@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	09043429702		
担当教員オフィスアワー	月曜日12:00~12:50 非常勤控室にて		
授業のねらい	現代社会に関する様々なトピックについて書かれた350~450語程度の英文パッセージを聴きとる作業と、聞き取った英文の内容を要約したり、表やフローチャートにまとめて内容理解を深める読む作業とを、毎回ユニット2つ分おこないます。読解、聴解、語彙増強を通して、基本的な英語学習スキルを向上させることをねらいとします。		
授業方法(学習指導法)	予習を前提とする演習形式で授業を進める。		
授業到達目標	①基本語彙については、「音」・「意味・語法」・「スペリング」の3つを統合して使えるようになること、②リーディングについては、個々のセンテンスの(修飾関係の把握に基づく)構造理解のみならず、センテンス間の論理関係とパラグラフ構成にも意識を向けること、③リスニングについては、英語のリズム、結合・脱落といった現象を確認し、最終的には自分のスピーキングで同様のことを実践すること一以上を目標とする。TOEICスコアなら550点以上が目標。		
授業内容	第2~第14回の毎回、教科書各ユニットのパッセージを材料として、そこで用いられている語彙の習得、内容理解の確認を中心とするリーディング・アクティビティ、及びリスニング・アクティビティをおこなう。毎回、前の週に扱ったユニットについての小テストをおこなう。		
	回	内容	
	1	授業概要と授業計画の説明	
	2	Unit 1: Chocolate Has a History as Rich as Its Taste Unit 2: Deforestation Decreased over the Past 10 Years	
	3	Unit 3: New Website Gives Kids an 'Ad-ucation' about Marketing Aimed at Them Unit 4: How to Get the Most out of a Workout	
	4	Unit 5: On World No Tobacco Day, Special Attention Goes to Women, Girls Unit 6: Study Adds to Understanding of Language and the Brain	
	5	Unit 7: Shortage of Nurses Is Worldwide, but Worst in Poorer Nations Unit 8: World Bank Sees Progress on Development Goals	
	6	Unit 9: Global Hip-Hop Music with a Message Unit 10: A Chicken in Every Pot: Finding New Uses for Feather	
	7	Unit 11: In Kenya, Low-Cost Crop Insurance for Small Farmers Unit 12: Events Set Around the World as Earth Day Turns 40	
	8	Unit 13: Taking Actions against Child Labor Unit 14: Studying in the US: Writing College Papers	
		Unit 15: Greater Efforts Are Urged to Get and Keep Girls in School	

	9	Unit 16: Scientists Look at Plant Products with an Eye to New Possibilities for Health
	10	Unit 17: Cities Now Home to More Than Half of All People Unit 18: For Poor Families, Especially, Books at Home Propel Children to More Years in School
	11	Unit 19: The Argument over Salt and Health Unit 20: Mapping the Way to a Better Soybean
	12	Units 1-20のまとめ、及びextra readings (1)
	13	G-TELP(共通テスト)
	14	Units 1-20のまとめ、及びextra readings (2)
	15	Units 1-20のまとめ、及びextra readings (3)
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		倉本充子他、『VOAスペシャルイングリッシュで読む現代社会』(三修社)
成績評価の方法・基準等		G-TELP共通テスト 20% 小テスト 30% 定期試験 50% この授業の評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1796秒です。

印刷



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月1																										
開講期間																													
必修選択	必	単位数	1.0																										
時間割コード	20120590013031	科目番号	05900130																										
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英8))																												
編集担当教員	濱崎 大																												
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大																												
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大																												
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																												
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																										
教室	[全]新棟5																												
対象学生(クラス等)	2Lf																												
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com																												
担当教員研究室	非常勤講師室																												
担当教員TEL																													
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室在可																												
授業のねらい	Reading, Listeningに関してバランスの取れたスキルアップを目指します。 Listeningにおいては映画を通して、従来の教材では感じる事の出来ないスピードや言い回しを見つけ、Readingは基本的な品詞をもう一度確認しながら、日本語訳、英語訳の対応力、判断力、そして基礎力をつけていきます。																												
授業方法(学習指導法)	できるだけ受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。 受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。																												
授業到達目標	ListeningやReadingを重点的に講義の中に取り入れ、日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。																												
授業内容	<p>授業内容(概要) Main TextのUnit内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。 一本の映画を通して、English Skillをバランスよく練習できるTextです。 さらに、アメリカのPop cultureやSubcultureを学ぶ事ができ、英語を学ぶことに関心が深まるよう進行して行きます。 また、Sub Textとして用いる教科書は全体を講義でカバーする事は致しませんが、講義の中でポイントを押さえて行きますので、基本的な品詞をもう一度確認しながら、Phrase Readingを出来る“目”、対応力をつけて行きます。 Phrase Reading、Practical Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで演習します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 Introduction</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 英語を知ろう: 文型と品詞 (Text: Merit)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 Unit 1 The Ku Klux Klan</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 Unit 2 Elvis Presley</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 Unit 3 John F. Kennedy</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 Unit 4 The Folk Song Movement</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 Unit 5 The Vietnam War</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 Unit 6 Vietnam War Veterans and PTSD</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 Unit 7 Hippies</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第10回 Unit 8 John Lennon</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>第11回 Unit 9 Watergate</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>第12回 Unit 10 Apple Computer</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 Introduction	2	第2回 英語を知ろう: 文型と品詞 (Text: Merit)	3	第3回 Unit 1 The Ku Klux Klan	4	第4回 Unit 2 Elvis Presley	5	第5回 Unit 3 John F. Kennedy	6	第6回 Unit 4 The Folk Song Movement	7	第7回 Unit 5 The Vietnam War	8	第8回 Unit 6 Vietnam War Veterans and PTSD	9	第9回 Unit 7 Hippies	10	第10回 Unit 8 John Lennon	11	第11回 Unit 9 Watergate	12	第12回 Unit 10 Apple Computer
回	内容																												
1	第1回 Introduction																												
2	第2回 英語を知ろう: 文型と品詞 (Text: Merit)																												
3	第3回 Unit 1 The Ku Klux Klan																												
4	第4回 Unit 2 Elvis Presley																												
5	第5回 Unit 3 John F. Kennedy																												
6	第6回 Unit 4 The Folk Song Movement																												
7	第7回 Unit 5 The Vietnam War																												
8	第8回 Unit 6 Vietnam War Veterans and PTSD																												
9	第9回 Unit 7 Hippies																												
10	第10回 Unit 8 John Lennon																												
11	第11回 Unit 9 Watergate																												
12	第12回 Unit 10 Apple Computer																												

	13 第13回 G-TELP
	14 第14回 Unit 11 Bicentennial Celebrations
	15 第15回 Unit 12 AIDS
	16 第16回 Final Examination
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング
教科書・教材・参考書	Main Text: American History in focus Macmillan Languagehouse Sub Text: Merit(英文法で学ぶやさしいパラグラフ・リーディング入門) 南雲堂 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% G-TELP 20% Final Examination 50%
受講要件(履修条件)	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。 欠席回数が1/3以上で学期末試験の受講資格を失います。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	G-TELPテストは、原則15回目の授業で実施。詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。





シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	月1												
開講期間															
必修選択	必	単位数	1.0												
時間割コード	20120590013033	科目番号	05900130												
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英9))														
編集担当教員	藤本 ゆかり														
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり														
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目														
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目												
教室	[全]大教センター3F														
対象学生(クラス等)	2T9														
担当教員Eメールアドレス															
担当教員研究室	非常勤講師控室														
担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務室)														
担当教員オフィスアワー	月曜日1時より														
授業のねらい	世界中から発信された、最新の環境や健康に関するニュースを読み、興味深い内容の英文を通して、世界の環境や健康に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、和訳の仕方を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。														
授業方法(学習指導法)	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、和訳の技術、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を、資料等を用いて指導する。														
授業到達目標	健康に対して関心を持ち、生活に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。和訳の技術を高めることができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。														
授業内容	<p>リーディングの方法として、準備段階を踏んで、リーディング本来の活動(スキミング、スキヤニング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに日本語に訳をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキヤニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、TOEIC形式の文法問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。</p> <p>英文は英字新聞から選ばれてきたものであり、フレーズ・リーディングを行うことで、教科書は特色あるものである。毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行って下さい。 自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10月 1日 導入・授業内容の説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10月15日 Unit 1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10月22日 Unit 2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10月29日 Unit 3</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11月 5日 Unit 4</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10月 1日 導入・授業内容の説明	2	10月15日 Unit 1	3	10月22日 Unit 2	4	10月29日 Unit 3	5	11月 5日 Unit 4
回	内容														
1	10月 1日 導入・授業内容の説明														
2	10月15日 Unit 1														
3	10月22日 Unit 2														
4	10月29日 Unit 3														
5	11月 5日 Unit 4														

	6	11月12日	Unit 5
	7	11月19日	Unit 6
	8	11月26日	Unit 7
	9	12月 3日	Unit 8
	10	12月10日	Unit 9
	11	12月17日	Unit 10
	12	1月 7日	G-TELPポスト・テストとまとめ
	13	1月21日	Unit 11
	14	1月28日	Unit 12
	15	2月 4日	Unit 13
	16	定期試験	
キーワード	リーディング / リスニング・英字新聞・世界の出来事・環境・健康・TOEIC・英作文・英文法		
教科書・教材・参考書	The Picture of Health 「健康と食品ニュースで読む現代社会」(小笠原真司 他: 南雲堂) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	このクラスの成績評価は下記のとおりです。定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。定期試験の成績を70%、共通テスト(G-TELPテスト)の結果を20%の割合で、最終成績とします。授業中の発表や活動10%を基準とします。また、受講中の態度を非常に重視しますので、注意しましょう。		
受講要件(履修条件)	今年度工学部2年生の総合英語Ⅲは、目的別クラスに分けて実施されます。クラスが指定されますので、自分が受講するクラスを、10月初めに全学教育事務室の掲示板で確認して下さい。授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		
本科目の位置づけ	リーディング・スキルの定着と向上を図る。		
学習・教育目標	総合的な英語の能力の基本を習得する。世界への関心を益々高める。		
備考(URL)			
備考(準備学習等)	授業には必ず予習をして臨んで下さい。英単語の意味を予め調べておき、文章の大意を掴んでおきます。工学部目的別のクラス分けは、英語学力基礎テストの結果に基づき、リーディング中心型クラスと総合力(基礎力)養成クラスに分けています。		





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。

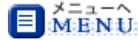


学期	後期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013034	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2M1)		
編集担当教員	西原 真弓		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 真弓		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 真弓		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]新棟3		
対象学生(クラス等)	2M1		
担当教員Eメールアドレス	nishihara@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	メールで連絡してください		
授業のねらい	英語の4技能を使いながら、リスニング力を向上させることを目的とする		
授業方法(学習指導法)	テキストを中心に、リスニングプロセスのすべての段階を強化する練習を行う。音変化を意識し音声分析する、スキミング、スキヤニング、推測力をつける、表現の幅を広げるなどの練習を毎回行います。		
授業到達目標	速読力とリスニング力の向上		
授業内容	回	内容	
	1	リスニングテスト Unit 1 What the world needs now	
	2	Unit 2 Young people making a difference	
	3	Unit 3 The horns of a dilemma	
	4	Unit 4 Of nukes and minefields	
	5	Unit 5 The world's hottest issue	
	6	Unit 6 Smart roads and cars	
	7	Unit 7 Languages lost and found	
	8	Unit 8 It's about time	
	9	Unit 9 Where would we be without it?	
	10	Unit 10 Virtually better	
	11	Unit 11 It's never too late	
	12	Unit 12 Good sports	
	13	G-TELP	
	14	Unit 13 Global concepts 1 : People	
	15	Unit 14 Global concepts 2 : Places	
16	試験		
キーワード	速読、リスニング力向上		

教科書・教材・参考書	Jim Knudsen 緒 『Global Concepts』(南雲堂)
成績評価の方法・基準等	G-TELP 20%, 定期試験 70%, 授業参加態度、および課題提出 10%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013035	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英10))		
編集担当教員	ローン 悦子		
授業担当教員名(科目責任者)	ローン 悦子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ローン 悦子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]323		
対象学生(クラス等)	2T10		
担当教員Eメールアドレス	etsukolawn@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます		
授業のねらい	本授業では、これまでに修得した英語の読む、書く、聞く、話す、の4技能の力を総合的に伸ばし、運用能力をさらに高めることを目標とします。特に、日本人学習者が苦手とする音声言語によるコミュニケーション能力の向上を目指します。		
授業方法(学習指導法)	授業では、テキストをベースに英語の4技能の力をバランスよく伸ばす練習をします。また、新しい語彙、表現力を増やすためにauthentic な教材、洋画を使用し(DVD視聴)、Readers' theaterなどの活動を通してペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。		
授業到達目標	授業を通して、日本語と英語の発想の違い、種々のリーディングスキル、リスニングストラテジーを理解、習得することによって、学習した語彙、表現を使って基礎的なコミュニケーションができるようになること、また洋画を英語(音声、字幕)でより理解できるようにすることを目標とします。		
授業内容	授業では、テキストをベースに英語の4技能の力をバランスよく伸ばす練習をします(テキストは全6課からなっていますが、授業の進み具合で調節しながら進めていきます)。特に実用的なコミュニケーション能力をより向上させるために、授業を通して、種々のリーディングスキル、リスニングストラテジーを学習しながら、受講生には回答の機会を出来る限り設け、ペアワーク、グループワークを通して学んだ表現の定着を図ります。テキスト中の基礎的な構文は、自然に口からついて出てくる程度にするために、各自音読、リピーティング、オーバーラッピング、シャドーイング、ディクテーション等の練習に力を入れて下さい。テキスト付属のSelf-study CD-ROMを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。DVDの視聴、補助教材も適宜使用し、Readers' theaterなどの活動を通して、発音、間、イントネーションの練習もしていきます。		
	回	内容	
	1	10月1日 オリエンテーション 授業の進め方Self-introduction DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴予定)	
	2	10月15日 My interests スキルの概要説明	
	3	10月22日 My interests Readers' theater の練習方法の説明	
	4	10月29日 Descriptions	
	5	11月5日 Descriptions Readers' theater	
	6	11月12日 Rain or shine	
	7	11月19日 Rain or shine Readers' theater	
	8	11月26日 Life at home	
9	12月3日 Group work for the presentation		

	10	12月10日 Presentaton
	11	12月17日 Life at home
	12	12月25日 Health
	13	1月7日 G-TELPテスト
	14	1月21日 Health
	15	1月28日 Review
	16	2月4日 定期試験 ※授業の進み具合で、上記の進度、内容設定を変更する場合があります。
キーワード	フレーズリーディング、シャドーイング、リピーティング、ディクテーション	
教科書・教材・参考書	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 2 Student's Book A with Online Workbook 』Cambridge University Press- ISBN: 9781107680494 を使用します。第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。	
成績評価の方法・基準等	定期試験35%、G-TELP20%、授業中の発表、小テスト、課題、プレゼンテーション35%、積極的な授業への参加10%を総合的に判断します。	
受講要件(履修条件)	教科書、英語辞典(電子辞書も可)を、毎回持参、また毎回授業に出席すること(時間厳守)。 学習した内容は、きちんと復習すること!	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎能力を身につけるストラテジーを習得し、日本人学習者の苦手な音声言語コミュニケーション能力の向上を目指す。	
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	共通英語学カテストG-TELPは、今期は13回目に行われます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明がありますので指示に従って下さい。また、掲示も行いますので、よく注意しておいて下さい。 各自テキスト付属のCD等を使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。	





タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013039	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2T(英6))		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	2Tc		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィスパワー	火4 水2 木3		
授業のねらい	このクラスは、幕末の長崎における医学・薬学・工学に関する近代化の歴史を学びながら、リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。		
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定された英文テキストは、大意を取る練習をします。また細かな部分の読解は、テスト形式のプリントを解きながら、行ないます。指定された範囲をきちんと読んで、予習しておくことも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得を図ります。さらに、e-learning 教材も課し学力の向上をはかるとともに、評価にも加えます。		
授業到達目標	<p>テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Word 約200語およびテキスト中のWords and Phrases 約300語の計500語を確実に意味がわかるようにします。また、テキスト中に指定してあるKey Sentenceとして、約60の構文が書けるようにします。同時にCDを使い、その構文が言えるようにします。また語彙集得のためのe-learning 教材パワーワーズのレベル4の語彙を修得します。</p> <p>授業の最初には、英語構文や英単語の小テストを行います。これは、テキストからテスト範囲を毎回指定しますから、家庭で必ずテキストについているCDを使いながら学習してきてください。成績の10%は、この小テストにて評価されます。</p> <p>その後、テキストを用いてリーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。テキストの詳細な部分は、テスト形式のプリントを用いて、効率的に行ないます。</p> <p>またプリント教材を用いて、リスニングの練習や語彙の強化の練習をします。e-learning 教材パワーワーズレベル4を授業中の一部を利用して行うとともに、残りは授業外の学習として、指定するペースで各自学習してもらいます。</p> <p>さらに、最新の英字新聞から面白い記事を読むことにも挑戦します。ここでは、速読の練習をします。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p> <p>※工学部総合英語Ⅲは、習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けは前もって、掲示にて発表します。</p>		
	16回 定期試験		
	回	内容	
	1	オリエンテーション Unit 1. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (1)	
		Unit 2. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (2)	

授業内容	2	英字新聞記事1 e-learning Power Words Level 4 Unit1~5
	3	Unit 3. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (1) 英字新聞記事1 e-learning Power Words Level 4 Unit6~10
	4	Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) 英字新聞記事1 e-learning Power Words Level 4 Unit11~15
	5	Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) 英字新聞記事2 e-learning Power Words Level 4 Unit16~20
	6	Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) 英字新聞記事2 e-learning Power Words Level 4 Unit21~25
	7	Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) 英字新聞記事2 e-learning Power Words Level 4 Unit26~30
	8	Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) 英字新聞記事3 e-learning Power Words Level 4 Unit31~34
	9	Unit 9. The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy 英字新聞記事3 e-learning Power Words Level 4 Unit35~38
	10	Unit10. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (1) 英字新聞記事3 e-learning Power Words Level 4 Unit39~42
	11	Unit 11. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (2) 英字新聞記事4 e-learning Power Words Level 4 Unit43~45
	12	Unit 12. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (3) 英字新聞記事4 e-learning Power Words Level 4 Unit46~48
	13	G-TELP テスト 英字新聞記事5
	14	まとめUnit 13. Steam Factory Nagasaki 1856 英字新聞記事5 e-learning Power Words Level 4 Unit49~50 Power Words 実力テスト
	15	Unit 14. Growth 1861-1865 Power Words 実力テスト
	16	定期試験
	キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan (EIKO-SHA) (CD付) 1,795円 英字新聞1部 10円(第1回目の授業時に教室にてテキストと英字新聞をセットで販売します) 教材 : プリント教材 毎回配布します。	
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、毎回の小テスト10%、授業中の発表10%、G-TELP 20%、e-learning 10%で行います。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。	





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月2																		
開講期間																					
必修選択	必	単位数	1.0																		
時間割コード	20120590013037	科目番号	05900130																		
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2D1・2)																				
編集担当教員	西原 俊明																				
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明																				
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明																				
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目																				
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																		
教室	[全]322																				
対象学生(クラス等)	L1																				
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp																				
担当教員研究室																					
担当教員TEL	095-819-2095																				
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment																				
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。																				
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。																				
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。																				
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10月1日 第1回 オリエンテーション 授業で取り上げるスキル、練習方法、日本人学習者の弱点に関する説明とそれを克服する訓練の概要</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10月15日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10月22日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10月29日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11月5日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11月12日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11月19日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11月26日 第8回 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10月1日 第1回 オリエンテーション 授業で取り上げるスキル、練習方法、日本人学習者の弱点に関する説明とそれを克服する訓練の概要	2	10月15日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	3	10月22日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	4	10月29日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)	5	11月5日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)	6	11月12日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)	7	11月19日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)	8	11月26日 第8回 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)
回	内容																				
1	10月1日 第1回 オリエンテーション 授業で取り上げるスキル、練習方法、日本人学習者の弱点に関する説明とそれを克服する訓練の概要																				
2	10月15日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)																				
3	10月22日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)																				
4	10月29日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)																				
5	11月5日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)																				
6	11月12日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)																				
7	11月19日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)																				
8	11月26日 第8回 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)																				

	9	12月3日 第9回 インフォメーションギャップによるヘアワーク(2), 映画による聞き取り(3)
	10	12月10日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)
	11	12月17日 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるヘアワーク(3), 速読(phrase reading)
	12	1月7日 第12回 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)
	13	1月21日 G-TELPテスト
	14	1月28日 第13回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6), retelling and summarizing
	15	2月4日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト Cultural Encounters (センゲージラーニング) (予定)	
成績評価の方法・基準等	G-TELP(20%)、小テスト(70%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは毎回行う。総合英語1の評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学カテストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。	
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	Plain Englishのプリント教材を復習し、小テストに備えること。	





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013024	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2M4)		
編集担当教員	山崎 有介		
授業担当教員名(科目責任者)	山崎 有介		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山崎 有介		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]33講義室		
対象学生(クラス等)	2M4		
担当教員Eメールアドレス	pro-1223@i-next.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスパワー	授業終了時		
授業のねらい	アメリカの看護を取り巻く主要な問題: Community-based Settings, Rising Consumerism, Technologic Advances, Access to Healthcare and Financial Resources, Today's Nurse について考察。 コミュニケーション言語としての英語を通じ、アメリカの看護の現状を理解する。		
授業方法(学習指導法)	リスニングによる音声把握、音読による発音練習、そして、内容把握を目的とし、英文の読解力と表現力を養っていくものとする。		
授業到達目標	無理なく通常の英文が読み、聴覚力を養うことで、発音の向上を目指し、英語における表現力を豊かにしたい。TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。		
授業内容	毎回、1つずつUnitを進む。Reading → Exercises → Summary → Discussionの流れで行う。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション: 授業の進め方・評価の仕方の説明・授業アンケート&クイズ	
	2	COMMUNITY-BASED SETTINGS Unit 1 Virginia's Story	
	3	Unit 2 Liz's Story	
	4	RISING CONSUMERISM Unit 3 Jenny's Story	
	5	Unit 4 Bill's Story	
	6	TECHNOLOGIC ADVANCES Unit 5 Linda's Story	
	7	Unit 6 Denise's Story	
	8	中間としてのまとめ	
	9	ACCESS TO HEALTHCARE AND FINANCIAL RESOURCES Unit 7 Betty's Story	
	10	Unit 8 Sharon's Story	
	11	Unit 9 Carrie's Story	
12	TODAY'S NURSE		

	Unit 10 Roberta's Story
13	G-TELPテスト
14	Unit 11 Kathy's Story
15	Unit 12 Danika's Story
16	後半のまとめ(その2):(定期試験を含む)
キーワード	Listening/Speaking/Reading/Writing/Vocabulary
教科書・教材・参考書	Nurses in the U.S. Now (三修社)
成績評価の方法・基準等	教員評価分【定期試験40%、中間試験30%、G-TELPテスト20%、小試験及び授業への姿勢(予習・発言・質問)10%】
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

参照URL

学期	後期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013029	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2M6)		
編集担当教員	川島 浩勝		
授業担当教員名(科目責任者)	川島 浩勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	川島 浩勝		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[環]242		
対象学生(クラス等)	2M6		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	長崎外国語大学 3階334研究室		
担当教員TEL	095-840-2000(内線334)		
担当教員オフィスアワー	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業のねらい	「総合英語Ⅲ」における学習成果を基に、英語のリスニングとリーディングにおけるバランスのとれた情報処理能力を身につける。		
授業方法(学習指導法)	様々なタスクを用い、リスニングとリーディングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己の英語力を客観的に把握・理解できる場面が用意され、同時に、リスニングとリーディングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。		
授業到達目標	本授業の到達目標は、1)様々なジャンルの口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2)語彙力のアップ、3)リスニングのスピードでより難しい文の処理・理解(リーディング)ができるようになる、である。		
授業内容	回	内容	
	1	授業方針の説明・英語力診断テスト	
	2	多聴プログラム1(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング1	
	3	多聴プログラム2(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング2	
	4	多聴プログラム3(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング3	
	5	多聴プログラム4(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング4	
	6	多聴プログラム5(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング5	
	7	多聴プログラム6(アメリカの家族生活を題材としたDVD)、語彙・文レベルのリスニング6	
	8	これまでの授業のまとめ	
	9	速読/精読プログラム1(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング1	
	10	速読/精読プログラム2(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング2	
	11	速読/精読プログラム3(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング3	
	12	速読/精読プログラム4(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング4	
	13	G-TELP	
14	速読/精読プログラム5(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング5		

	15	速読/精読プログラム6(最新/最近のニュースを中心に)、談話レベルのリスニング6
	16	学期末試験
キーワード	多聴、多読、速読、精読、語彙、文、談話	
教科書・教材・参考書	基本的にはプリント教材を配布するが、第1回目の授業で実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。	
成績評価の方法・基準等	"レポート20%・G-TELP20%・学期末試験60%とする。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、第1回目の授業で配布する資料を参照すること。 "	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1796秒です。

印刷

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013038	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2M5)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	2M14		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関わる語彙、表現を身につける。		
授業内容	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
	回	内容	
	1	10月2日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明	
	2	10月9日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)、医者と患者の会話(1)	
	3	10月16日 第3回 Voice Aerobics、医者と患者の会話(2)	
	4	10月23日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医者と患者の会話(3)	
	5	10月30日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、医者と患者の会話(4)	
	6	11月6日 第6回 弱く発音される音、医者と患者の会話(5)	
	7	11月13日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)、	
	8	11月20日 第8回 聞こえなくなる音、医者と患者の会話(5)、速読(2)	
	11月27日		

	9	第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2)、医者と患者の会話(6)
	10	12月4日 第10回 グループによるディスカッション(1)、速読(3)
	11	12月11日 第11回 なくなる音、医者と患者の会話(7)、速読(4)
	12	12月18日 第12回 ひとつになる音、インフォメーションギャップによるペアワーク(3)
	13	1月8日 第13回 G-TELP
	14	1月15日 第14回 つながる音、医者と患者の会話(8)、速読(5)
	15	1月22日 第15回 医者と患者の会話(9)、速読(6)、Retelling
	16	
キーワード	医学英語、音変化、速読	
教科書・教材・参考書	Medical English Clinic(センテージラーニング)、及びプリント教材。	
成績評価の方法・基準等	G-TELP(20%)、まとめテスト(20%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。また、まとめテストは、2回実施する。	
受講要件(履修条件)	毎回、復習を行うこと。	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、学部教育への橋渡しとしての医学英語にふれる。	
学習・教育目標	基礎的医学英語に関わる表現等を身につける。また、大学レベルの英語に必要なスキルを身につける。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	毎回実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を必ず復習すること。	





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System

メニューへ
MENUログアウト
LOGOUT

シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013023	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2L3)		
編集担当教員	村岡 三奈子		
授業担当教員名(科目責任者)	村岡 三奈子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	村岡 三奈子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[環]242		
対象学生(クラス等)	2L3		
担当教員Eメールアドレス	muraoka@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスパワー	長崎純心大学村岡研究室にて随時		
授業のねらい	政治・経済・科学技術・文化・教育など、さまざまなピックを題材にした英字新聞を読みながら、現代社会が抱える諸問題を分析的に理解する能力を養うことを目指す。		
授業方法(学習指導法)	原則として、毎週、テキストを1章ずつ学習する。基本的 vocabulary の習得、reading およびその summary、さらに categorizing の順番で進める。予習を前提とし、毎回、授業のはじめに確認の小テストを行う。		
授業到達目標	基本的構文および文法事項に留まらず、英文記事を読むための表現や基礎知識を習得して、英字新聞が抵抗なく読めるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	10月4日 イントロダクション	
	2	10月11日 Chapter 1	
	3	10月18日 Chapter 2	
	4	10月25日 Chapter 3	
	5	11月1日 Chapter 4	
	6	11月8日 Chapter 5	
	7	11月15日 Chapter 6	
	8	11月22日 Chapter 7	
	9	11月29日 Chapter 8	
	10	12月6日 Chapter 9	
	11	12月13日 Chapter 10	
	12	12月20日 Chapter 11	
	13	1月10日 G-TELPテストとまとめ	
	14	1月17日 Chapter 12	
	15	1月24日 Chapter 13	
16	1月31日 定期試験		
キーワード			

教科書・教材・参考書	教科書: Insights 2012 (KINSEIDO)
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況:10% 小テスト:10% G-TELP:20% 筆記試験:60%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013025	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2P1)		
編集担当教員	山口 敦子		
授業担当教員名(科目責任者)	山口 敦子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山口 敦子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[総]109		
対象学生(クラス等)	2P1		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095(846)0084		
担当教員オフィスアワー	授業終了後		
授業のねらい	幕末の長崎における医学、薬学、工学の近代化に関するテキストを講読し、英語の読解力を強化する。CDを使用しながら、リスニング力を向上させ、英文のリズムを体得する。日本の医学、薬学、工学の歴史についての知識を深めながら、各分野の専門用語の習得に努める。		
授業方法(学習指導法)	毎回和訳とリスニングを中心にテキストを読み進める。あらかじめ指定された担当者はテキストを音読し、和訳を発表する。		
授業到達目標	語彙力、文法力を強化するとともに、論理的な英文の構造に慣れ、将来専門分野における論文を読みこなせる力に繋がられるようになる。幕末の長崎でいかに西洋の医学、薬学、工学の知識や技術が導入され、発展してきたかに関するテキストを読むことで、発展に貢献した先人たちのバイオニア精神を学び、国際的な知識の交流に対する関心を高める。		
授業内容	毎回和訳とリスニングを中心に一つのユニットを読み進める。あらかじめ指定された担当者はテキストを読み、和訳を発表する。受講生は前もってユニットの予習、CDによるリスニングの練習、内容把握や語彙確認のための付属の問題演習を行い、授業に備えておく。		
	回	内容	
	1	イントロダクション 幕末の長崎について	
	2	Unit1 西洋技術を伝えたブルック博士(1)	
	3	Unit2 西洋技術を伝えたブルック博士(2)	
	4	Unit3 日本最初の医学校の創始者ボンベ博士(1)	
	5	Unit4 日本最初の医学校の創始者ボンベ博士(2)	
	6	Unit5 オランダ海軍と日本への技術移転(1)	
	7	Unit6 オランダ海軍と日本への技術移転(2)	
	8	Unit7 オランダ海軍と日本への技術移転(3)	
	9	Unit8 オランダ海軍と日本への技術移転(4)	
	10	Unit9 西洋式化学と薬学の導入	
	11	Unit10 オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本の関係(1)	
	12	Unit11 オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本の関係(2)	
13	G-TELP		

	14	Unit12 オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本の関係(3)
	15	Unit15 1850年頃の医学の概観
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	『幕末・近代化の先覚者たち—幕末の長崎を英語で読み解く—』(英光社)	
成績評価の方法・基準等	授業中への積極的な取り組み状況:10点 G-TELP:20点 定期試験:70点	
受講要件(履修条件)	必ず予習をして望むこと。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1655秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013026	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2L1)		
編集担当教員	古場 なおみ		
授業担当教員名(科目責任者)	古場 なおみ		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古場 なおみ		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]新棟2		
対象学生(クラス等)	教育(2L1)		
担当教員Eメールアドレス	kobaknke@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	講義の前後		
授業のねらい	(1)健康問題、食品関係、さらに医療を含め「健康」を題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、読解、TOEIC形式の問題等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2)AP通信などのニュース英語に慣れ親しむ。		
授業方法(学習指導法)	講義形式でテキストを進める。		
授業到達目標	国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明	
	2	The Picture of Health, Unit 1	
	3	The Picture of Health, Unit 2	
	4	The Picture of Health, Unit 3	
	5	The Picture of Health, Unit 4	
	6	The Picture of Health, Unit 5	
	7	The Picture of Health, Unit 6	
	8	The Picture of Health, Unit 7	
	9	The Picture of Health, Unit 8	
	10	The Picture of Health, Unit 9	
	11	The Picture of Health, Unit 10	
	12	The Picture of Health, Unit 11	
	13	G-TELP	
	14	The Picture of Health, Unit 12	
	15	The Picture of Health, Unit 13 & Review	
16	期末試験		
キーワード			

教科書・教材・参考書	The Picture of Health (南雲堂)
成績評価の方法・基準等	教員評価分80%(定期試験70%、小テスト、出席、授業への積極的な取り組み30%) G-TELP20%
受講要件(履修条件)	毎回の予習、10回以上の出席
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	授業で指示



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013040	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2L2)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]22講義室		
対象学生(クラス等)	2L2		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィサー	火4 水2 木3		
授業のねらい	このクラスは、テキストを利用して、リスニング力や速読の練習を行い、そのスキルを大幅に向上させます。またプリント教材により毎回ニュース英語を読みリーディング力と語彙力の養成を行います。音読の訓練も行い、スピーキング面での強化も行います。		
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストと配付のプリント教材を用いて、大意を取る練習をします。また細かな部分はブレーズリーディングで速読します。またテキストを用いて、リスニングの練習をたくさん行い、リスニングストラテジーによるリスニングスキルを身につけます。そして、e-learning 教材を授業の一部で行なうとともに、多くの部分は範囲を指定して、授業外学習をしてもらいます。また、最新の英字新聞を利用して、速読の練習も行います。		
授業到達目標	プリント教材のテキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。テキストのファーストパラグラフがリピーティングできるようにします。 また教科書の歌や歌詞が80%聞き取れるようにします。教科書の課題例文120を修得します。 e-learning 教材パワーワーズレベル4の80%を修得します。		
	授業の最初には、前回学習したプリントのテキストの第1パラグラフのリピーティングからはじめます。家庭で必ず練習してください。 その後、リーディングの練習をします。学生はテキストや英字新聞の指示された範囲を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。 教科書の歌の歌詞をCDを用いて聞き取る練習をし、リスニングスキルをアップさせます。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業外でe-learning教材にも挑戦してもらいます。その進捗度も評価に加えます。 担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション Take Me Out to the Ball Game e-learning Power Pords Level 4 Unit.1 英字新聞記事1	
	2	Edelweiss, Amazing Grace e-learning Power Pords Level 4 Unit.2~4 英字新聞記事1	
	3	Puff e-learning Power Pords Level 4 Unit.5~8 英字新聞記事1	

授業内容	4	Unchained Melody e-learning Power Pords Level 4 Unit.9~12 英字新聞記事2	
	5	Over the Rainbow e-learning Power Pords Level 4 Unit.13~16 英字新聞記事2	
	6	Where Have All the Flowers Gone? e-learning Power Pords Level 4 Unit.17~20 英字新聞記事2	
	7	Tennessee Waltz e-learning Power Pords Level 4 Unit.21~24 英字新聞記事3	
	8	My Way e-learning Power Pords Level 4 Unit.25~28 英字新聞記事3	
	9	Dreaming Home and Mother e-learning Power Pords Level 4 Unit.29~32 英字新聞記事3	
	10	Long Long Ago e-learning Power Pords Level 4 Unit.33~36 英字新聞記事4	
	11	Grandfather's Clock e-learning Power Pords Level 4 Unit.37~40 英字新聞記事4	
	12	I've Working on the Railroad e-learning Power Pords Level 4 Unit.41~43 英字新聞記事4	
	13	英字新聞記事5 G-TELP 試験とまとめ	
	14	Beautiful Dreamer e-learning Power Pords Level 4 Unit.44~47	
	15	We wish you a Merry Christmas e-learning Power Pords Level 4 Unit.48~50 英字新聞記事5	
	16	定期試験	
	キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
	教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): English Melodies of the Heart (CD付) (英光社)1,795円 英字新聞 10円 (第1回目の授業時に教室にてセットで販売します) 教材 : プリント教材 毎回配布します。	
	成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20% 授業中の発表(小テスト含む)10%で行います。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013027	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2E(英5))		
編集担当教員	古場 なおみ		
授業担当教員名(科目責任者)	古場 なおみ		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古場 なおみ		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]24講義室		
対象学生(クラス等)	経済(2E5)		
担当教員Eメールアドレス	kobaknke@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィサー	講義の前後		
授業のねらい	(1)世界からの身近なトピックを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2)アメリカのテレビニュース番組の英語に慣れ親しむ。		
授業方法(学習指導法)	講義形式でテキストを進める。		
授業到達目標	国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明	
	2	ABC World News 14 テレビニュース英語について & Unit 1	
	3	ABC World News 14, Unit 1	
	4	ABC World News 14, Unit 2	
	5	ABC World News 14, Unit 2 & 6	
	6	ABC World News 14, Unit 6	
	7	ABC World News 14, Unit 7	
	8	ABC World News 14, Unit 7 & 8	
	9	ABC World News 14, Unit 8	
	10	ABC World News 14, Unit 9	
	11	ABC World News 14, Unit 9 & 13	
	12	G-TELP	
	13	ABC World News 14, Unit 13	
	14	ABC World News 14, Unit 15	
	15	ABC World News 14, Unit 15 & Review	
16	期末試験		
キーワード			

教科書・教材・参考書	ABC World News 14 (KINSEIDO)
成績評価の方法・基準等	教員評価分80%(定期試験70%、小テスト、出席、授業への積極的な取り組み30%) G-TELP20%
受講要件(履修条件)	毎回の予習、10回以上の出席
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	授業で指示



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013028	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2E(英7))		
編集担当教員	山崎 美也子		
授業担当教員名(科目責任者)	山崎 美也子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山崎 美也子		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]13講義室		
対象学生(クラス等)	経済(2E7)		
担当教員Eメールアドレス	usa-385@i-next.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業終了後		
授業のねらい	Globalizationという現象が世界的にも個人的にもどのように影響をもたらすかを考え、その長所と短所を考える。少々長めの英文を読み、内容を把握しながら英文の構成と読解力のスキルを養う。		
授業方法(学習指導法)	毎回1章ずつ読み進めていくので、必ず予習をすること。		
授業到達目標	書かれている英文の内容を正確に把握できることを目標とする。		
授業内容	パラグラフごとに内容を確認し、Exerciseで表現や語彙などを強化する。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	1. Introduction: Understanding Globalization	
	3	2. Containers: Making Transportation Cheap	
	4	3. Outsourcing: Call Centers in India	
	5	4. The Unglobalized World	
	6	5. Knowledge: The Internet as Equalizer	
	7	6. Universities	
	8	中間のまとめ	
	9	7. Wikipedia	
	10	8. Immigration: Integrating People across Borders	
	11	9. Globalization Our Diet	
	12	10. The Brazilian Amazon Rainforest	
	13	G-TELP	
	14	11. The Downside of Globalization	
	15	12. Eyhics and Standards: Changing the way the World Thinks	
16	全授業の総括(試験を含む)		
キーワード			

教科書・教材・参考書	教科書: What Globalization Really Means (成美堂)
成績評価の方法・基準等	中間テスト30%、定期試験50%、G-TELP20%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590013032	科目番号	05900130
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2E(英6))		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]23講義室		
対象学生(クラス等)	2Tg		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	0.0		
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室在中可		
授業のねらい	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意訳の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業方法(学習指導法)	受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業到達目標	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得る事ができる情報も、知識人として必要なものになります。		
授業内容	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは幕末の長崎について多く取り上げられているTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意訳の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで習得して行きます。		
	回	内容	
	1	第1回 Introduction,	
	2	第2回 Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)	
	3	第3回 Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)	
	4	第4回 Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)	
	5	第5回 Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2)	
	6	第6回 Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1)	
	7	第7回 Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2)	
	8	第8回 Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3)	
	9	第9回 Unit 8 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)	
	10	第10回 Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1)	
	11	第11回 Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2)	
	12	第12回 Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (3)	
	13	第13回 G-TELP	
	14	第14回 Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan: Steam Factory Nagasaki 1856	

	15 第15回 Unit 14 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Growth 1861-1865
	16 第16回 Final Examination
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング
教科書・教材・参考書	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% Examination 70% (G-TELP: 20%, Final Examination: 50%)
受講要件(履修条件)	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。 欠席回数が1/3以上で学期末試験の受講資格を失います。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	G-TELPテストは、原則15回目の授業で実施。詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅲ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金2												
開講期間															
必修選択	必	単位数	1.0												
時間割コード	20120590013036	科目番号	05900130												
授業科目名	●総合英語Ⅲ(2E(英8))														
編集担当教員	宇佐美 康子														
授業担当教員名(科目責任者)	宇佐美 康子														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	宇佐美 康子														
科目分類	B科目 外国語 既習、外国語科目														
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目												
教室	[総]108														
対象学生(クラス等)	2E(英8)														
担当教員Eメールアドレス	usamikan@fsinet.or.jp														
担当教員研究室	非常勤講師室														
担当教員TEL															
担当教員オフィスアワー															
授業のねらい	このクラスは、今まで培ってきた精読の力を維持しつつ、速読を目指して、ある程度の量のある程度の速さで読む練習をします。テキストの各のユニットは、「子供1人に1台のノートパソコン」、「緑化の利益」、「イタリアのファッション王」、「ユー・チューブの力」、「クレジットカードの奴隷」、等の約300語程度の読み物を中心に構成されていますが、基本的な文法項目を確認しつつ語彙力を強化し、リーディングスキルを養成します。リスニングや音読の訓練により音声面での強化も行います。														
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。テキストは全部で20個のユニットで構成されています。前半はユニットを1個ずつ、後半はユニットを2個ずつ進みます。その場で読んで、大意をつかみ必要な情報を読み取る練習をするとともに、家庭で精読してきてものを授業で確認します。指定された範囲を、付属のCDも用いて音読の練習をすることも含めて、きちんと予習してきてください。また適宜、授業中にプリントを配付し、テキストの活動の補強をします。														
授業到達目標	テキストの英語を、英語の自然な速さで読んで、辞書なしで意味がとれるようになることです。語彙レベルでは、テキスト中の単語でよく使われるものは確実に意味がわかり、文法レベルでは、読む上で必要な要点を確認し、音声面では、発音で英語の音に少しでも近づき、さらに英語のリズムと速さで音読できる様になることです。														
授業内容	<p>授業の最初は、英単語等の小テストを行います。テスト範囲は、毎回テキストから指定します。成績の約20%は、この小テストで評価されます。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を、テキストについているCDを使いながら必ず家庭で予習して授業に参加してください。各英単語の音を確かめるだけでなく、英語のリズムとスピードで音読できることは、ある程度のまとまった量のある程度の速さで読むためには大切です。手を動かずに努力して下さい。次に、家庭でしてきた精読を文意や文法等の点から確認します。前半の授業では、次週に勉強する分を用いて、制限時間内で読んで大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。後半の授業では、2個のユニットを、精読するものと速読するものとに割り振って行います。</p> <p>適宜プリント教材を用いて、リスニング、音読、リーディング等の練習をします。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Unit 1 One Laptop Per Child</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Unit 2 Green Profits</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Unit 3 Well-Loved Pets</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Unit 4 Italy's Fashion Kings</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Unit 5 Viral Marketing</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	Unit 1 One Laptop Per Child	2	Unit 2 Green Profits	3	Unit 3 Well-Loved Pets	4	Unit 4 Italy's Fashion Kings	5	Unit 5 Viral Marketing
回	内容														
1	Unit 1 One Laptop Per Child														
2	Unit 2 Green Profits														
3	Unit 3 Well-Loved Pets														
4	Unit 4 Italy's Fashion Kings														
5	Unit 5 Viral Marketing														

	6	Unit 6 the NBA Goes Glaba
	7	Unit 7 The Gossip Media
	8	Unit 8 Replanting the World' s Forests
	9	Unit 9 Adventure Tourism, Unit 10 The Cannes Film Festival
	10	Unit 11 Giving Away Billions, Unit 12 Computer Actors
	11	Unit 13 New York City, Unit 14 Fresh Water: A Growing Crisis
	12	Unit 15 Exporting Culture, Unit 16 Aging Populations
	13	G-TELP テスト
	14	Unit 17 The Power of YouTube, Unit18 Credit-Card Slaves
	15	Unit 19 Yoga, Unit 20 Crime-Fighting Scientists
	16	定期試験
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): Reading Pass 2(南雲堂) (CD付) 2200円。 プリント: 適宜配付。	
成績評価の方法・基準等	定期試験約60%、G-TELP20%、毎回の小テストを含む平常点約20%で行います。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則です。教科書も必ず購入してください。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	第1回目からすぐに授業に入ります。テキストを購入して、予習をしてきて下さい。	

